

**平成27年度
社会福祉法人 開成町社会福祉協議会
事業報告・決算**



みれあひネットワーク



社会福祉
法人

開成町社会福祉協議会

平成27年度

社会福祉法人 開成町社会福祉協議会 事業報告

はじめに

開成町社会福祉協議会は、一人ひとりの声を大切に、生涯にわたる生活を総合的に支えるしくみをコミュニティワークの実践をつうじて築いていくこと、開成町らしさあふれる”共助”文化の創造をめざして、平成27年度は次の事業・活動に取り組みましたので報告いたします。

目次

■福祉・企画 部門

地域福祉活動推進 関係

01 自治会福祉活動の支援	2
02 ボランティア活動の推進（ボランティアセンター）	4
03 当事者活動の支援	7
04 広報啓発事業の充実	11
05 福祉教育事業の充実	13

法人運営 関係

06 事業推進体制の整備	16
--------------	----

■福祉サービス 部門

福祉サービスの利用支援 関係

07 安心センター事業の充実	24
08 総合相談・援護事業の充実	26

在宅福祉サービス 関係

09 在宅福祉サービスの推進（介護保険外）	28
10 介護保険事業の推進	31
11 地域包括支援センター事業の推進	33

■資 料

地域福祉活動推進 関係

01 自治会福祉活動の支援

① 自治会福祉活動サポート事業の実施

内容	暮らしに身近な小地域（自治会エリア）において、さまざまな人々が互いにたすけあい、交流できるようにする取り組み（自治会福祉活動）が、それぞれの地区にふさわしい創意と工夫を活かしたものと主体的かつ継続的に展開できるよう支援するために、サポート事業を実施しました（助成金の交付、地区担当職員の派遣等）。 具体的には、自治会福祉活動の推進に意欲的に取り組む自治会を実施主体とし、次のメニュー例のうちいずれかを、地区の特性を活かしてすすめました。 ステップ1（基本事業） ①啓発活動 ～ ふれあい交流活動、広報啓発活動 ②援助活動 ～ 定期的訪問・見守り活動、ふれあい・いきいきサロン活動、その他 ステップ2（選択事業） ①認知症高齢者を支える活動 ②介護予防を目的とした活動		
期日	通年		
対象地区	①岡 野、②金井島、③上延沢、④下延沢、⑤円 中、⑥宮 台、⑦牛 島、⑧上 島、⑨河原町、⑩榎 本、⑪中家村、⑫下 島 ⑬パレットガーデン ＊計13地区		
助成額	計1,477,000円（＊1地区上限130,000円、平均114,000円）		
目標	開成町らしい共助活動のレベルアップと支援方策のアップデート（H26年度地区別ふくし座談会結果を踏襲）		
目標達成度を計る指標	（ふれあい・いきいきサロン等を含む）各地区事業の開催回数	実 績／目標値	集計中／475回
成果	ふれあい・いきいきサロン等、自治会域においてそれぞれの地域特性を踏まえた①啓発活動と②援助活動が、自治会福祉部を中心に当町らしい取り組みとして展開されています。福祉活動における住民自治（共助文化）の実現へ向けて、本事業助成金が実効性を伴って活用されています（当事者を包み、支え、励まし、つなげる）。		
課題	- 参加者の固定化、事業のマネリ化からの脱却 - 新たな福祉ニーズに着目した柔軟な事業展開視座の涵養		

② 自治会福祉部長連絡会の開催

内容	各地区の事業進捗状況についての情報交換と今後の新たな活動展開及び課題についての意見交換等を行うために、連絡会を2回開催しました。		
期日	①7月21日（火） ②3月18日（金）	*計2回	
会場	福祉会館		
参加者数	計31人		
目標	地域における新たな福祉課題のキャッチと柔軟・先駆的な取り組みへのアプローチ強化（H26実施の地区別ふくし座談会結果を踏襲）		
目標達成度を計る指標	連絡会時における自治会福祉部長発言者の割合（問題意識の共有とスキルアップを図るために～）	実 績／目標値	100％／100％
成果	主に各自治会福祉部長を対象に相互の情報・意見交換を行うべく開催しています。課題意識の共有化とその打開策模索の場として機能しています。		
課題	より生活支援型活動を意識した取り組みへのアプローチ強化		

③ 自治会福祉部の育成・支援

内容	地区担当職員（福祉活動専門員）を派遣し、情報提供・助言等を行うことにより、各地区の特性に応じた福祉活動を支援しました。
----	---

期日	通年		
職員派遣回数	延62回（＊全事業計／前年比24回減）		
目標	開成町らしい共助活動のレベルアップと支援方策のアップデート （H26実施の地区別ふくし座談会結果を踏襲） （自治会福祉活動サポート事業とリンク）		
目標達成度を計 る指標	職員派遣回数（年延）	実 績／目標値	62回／80回
成果	前年開催の地区別ふくし座談会結果のフィードバックを意識しつつ、当町らしい共助活動のレベルアップに資することができました。		
課題	職員の地域福祉援助技術たるコミュニティワークのスキルアップ（情報収集・分析・提供能力等）		

02 ボランティアセンター事業の推進

① ボランティア講座の開催

内容	ボランティア活動に興味のある方々を対象として、知識の習得と住民の主体的な福祉活動であるボランティア活動への参加を促進することを目的に、ボランティア活動入門編としての①救急法、②手話の各講座を開催します。
目標	講座の開催（各講座参加10人以上） 協力団体（ボランティア団体）の組織強化

① 救急法講習会（救急員資格継続研修）

期日 4月4日（土）
会場 福祉会館
協力 開成町赤十字奉仕団 日本赤十字社神奈川県支部

参加者数 3人

② 手話講習会（入門講座）

期日 ①2月12日（金） ④3月 4日（金）
②2月19日（金） ⑤3月11日（金）
③2月26日（金） ⑥3月19日（金）
*計6回

会場 福祉会館
協力 手話サークルかたつむり、足柄上ろうあ福祉協会

参加者数 19人

③ 足柄上地区ボランティア研修会

期日 2月16日（火）
会場 中井町農村環境改善センター
講師 *講演「認知症から学んだこと」
講師：山本 文子 氏（公益社団法人認知症の人と家族の会世話人）

参加者数 参加者：多数（当町からの参加者0人）

共催 足柄上1市5町社協

④ 足柄上地区災害ボランティア研修会

期日 10月27日（火）
会場 南足柄市りんどう会館
講師 *講演「そのとき、社協は?!」～災害ボランティアセンター立ち上げによる小山町社協職員の役割と関係機関の連携と課題～
講師：静岡県小山町社会福祉協議会 職員

参加者数 参加者：41人（当町からの参加者2人）

共催 足柄上1市5町社協

目標達成度を計る指標	参加者数 講座内容	実績／目標値	24人／75人
成果	手話講座では、知識技能の習得がすすみ、興味関心が深まりました。受講者の一部に協力いただいたサークルへ加入された方もあり、グループの機能強化にもつながりました。 足柄上地区災害ボランティア研修会は、社協職員の対応について同じ職員という立場からの説明により知識が深まりました。		
課題	・新たな内容の検討（講座内容の固定化） ・年齢層によるクラス分を検討（説明の仕方や言葉遣いの工夫） ・周知案内方法の検討 ・受講者のフォローアップ（ボランティア活動へつなぎ）		

② ボランティア活動交流会の開催

内容	町内外で活動するボランティアグループ等が集い、お互いの交流を深め、情報と課題を共有し、ボランティアネットワークの拡大を図ることを目的に、交流会を開催しました。 グループの活動紹介、情報・意見交換等。
----	--

期日	10月29日（木）		
会場	福祉会館		
参加者数	10人（6グループ）		
目標	情報を共有しボランティアネットワークの拡大 全登録団体の参加		
目標達成度を計 る指標	参加者数	実 績／目標値	10人／15人
成果	情報・意見交換が活発に行われ、他グループの活動に興味をもたれる等相互の理解が深まりました。その反面、当初年間2回の開催予定だったが、2回目の開催ができませんでした。		
課題	情報交換の場としての定期開催		

③ ボランティアの発掘・育成

内容	ボランティアの発掘・育成を図り、新規登録を促進します。		
期日	通年		
登録者数	①グループ 11グループ（165人） ②個人 20人	*計 185人 *前年比 3人減	
目標	団体登録 +1団体 個人登録 +10人		
目標達成度を計 る指標	個人登録者数	実 績／目標値	20人／40人
成果	新規登録団体はありませんでした。		
課題	・地域包括ケアシステム構築に向けた、地域の担い手（個人登録ボランティア）の確保 ・地域と連携したニーズ、マッチング方法の確立		

④ ボランティアグループ等の育成・支援

内容	情報提供等を行うとともに、活動費の一部を助成し、活動を支援しました。		
期日	通年		
助成数・金額	7グループ 計200,000円 （前年度比 2団体減 51,000円減）		
目標	団体の活動状況の把握		
目標達成度を計 る指標	登録グループ数 活動状況の把握	実 績／目標値	7グループ／12グループ
成果	地域で活動されている各グループへ活動費を助成し支援することにより、安定的・継続的に活動が展開されています。また、各グループの活動内容・状況等が把握できます。必要な団体に貸出ロッカーの貸出をし、利便が向上しました。		
課題	・財源の確保と助成対象グループの固定化 ・助成金交付に係る審査、交付時期		

⑤ おいさま活動「ちょこボラ」の実施

内容	軽度生活援助事業で派遣していた内容の一部を「生活支援ボランティア派遣」と位置づけ、ニーズと派遣のコーディネート（登録、マッチング、派遣）を行う。 *ゴミ出し *電球交換 *雨戸締め *移送サービス同乗		
期日	通年		
派遣件数	0件		
登録者数	0人		
目標	登録者数 2人 派遣件数 10件		

目標達成度を計 る指標	登録者数 派遣回数	実 績／目標値	0件／派遣10回
成果	ニーズ（相談）は2件の問い合わせはあったが、マッチングには至らなかった。		
課題	登録や派遣（利用）につながる内容にリニューアルする		

⑥ ボランティアセンター機能の整備・強化

内容	ボランティア活動に関する情報の整備・提供、相談及びボランティアの登録促進・育成等を行うことにより、ボランティアセンター拠点機能の整備・強化を図りました。		
期日	通年		
登録者数	①グループ	11グループ（165人）	*計 185人
	②個人	20人	*前年比 3人減
目標	災害ボランティアセンターの設置及び運営マニュアルの作成及び町との協定（締結）準備		
目標達成度を計 る指標	センター機能の充実・強化 総合的な取り組み	実 績／目標値	町との協定 未締結 ／総合的な取組強化
成果	ボランティア登録により、団体は福祉会館利用料金免除、個人はボランティア保険を本会負担で加入することにより、負担軽減が図られています。		
課題	・登録団体・者の固定化とボランティアの高齢化 ・災害ボランティアセンターの設置及び運営マニュアルの作成及び町との協定（締結）未整備		

03 当事者活動の支援

1) 高齢者関係

① 敬老会の開催

内容	多年にわたり社会に貢献してこられた高齢者に敬意を表し、長寿をお祝いするとともに、敬愛精神の高揚と高齢者福祉の一層の推進を図るために、「開成町敬老会」を開催いたしました。 また、結婚50年（金婚）ならびに結婚60年（ダイヤモンド婚）を迎えられたご夫妻のご長寿をお祝いすることを目的として、「長寿夫妻記念品贈呈事業（記念写真入りミニアルバムの贈呈）」を実施しました。		
期日	9月21日（月）＊敬老の日		
会場	福祉会館		
参加者数	230人		
共催	開成町		
協力	開成町老人クラブ連合会 開成町民生委員児童委員協議会 開成町自治会長連絡協議会 開成町婦人会 キンレイ心染プロジェクト 文命中学校吹奏学部 作文朗読者（開成南小学校・文命中学校） 司会者 フォートあしがら		
目標	魅力ある内容の開発により多くの高齢者や家族の参加 長寿夫妻記念品贈呈事業 希望される当日来場者の写真撮影（上記事業に含む）／敬老会終了後渡せるように準備 （長寿夫妻記念品贈呈は該当に達してから3年まで）		
目標達成度を計る指標	来場者数 当事者の出演など余興メニューの充実 役割分担の明確化	実績／目標値	230人／来場者250人
成果	幅広く関係団体に周知ができ、昨年より参加者を増やすことができました。また、新たな余興メニュー（大学生による落語）を導入し、参加者に大変喜ばれました。		
課題	・長寿夫妻記念品贈呈事業の準備（協力団体調整）不足 ・記念アルバム作成時の当事者ご夫妻の参画（アルバム写真の選定等） ・記念アルバムもしくは写真立ての選択制の導入		

② ふれあい交流会の開催

内容	各種在宅福祉サービス利用者や日頃外出の機会の少ない方々が一堂に会する社会参加の機会を提供し、相互の交流と仲間づくりを促進するために、交流会を開催しました。 ①昼食会 ②余興 太鼓／酒田保育園（園児） 歌 唱／ふれあい金曜会歌唱隊		
期日	6月27日（土）		
会場	福祉会館		
参加者数	183人（対象者等89人・来賓5人・余興出演者45人・実行委員関係者等44人）		
主催	ふれあい交流会実行委員会（民生委員児童委員協議会、町社協）		
協力	開成町（福祉課、保健介護課）、日本製紙クレシア(株)開成工場、(有)司建材（つかさ惣菜）、(株)明治ゴム化成、酒田保育園、ミニデサービスふれあい金曜会歌唱隊		
目標	新たな参加者の発掘（転入者）・歓談、余興以外のプログラムの開発（実行委員会で検討） 送迎方法の検討／家族と同居の場合は積極的に家族に送迎いただく、など 実行委員会機能の強化		
目標達成度を計る指標	新規参加者の発掘（転入者等） 魅力ある内容への転換	実績／目標値	183人／参加総数150人 （対象者120人）
成果	日頃外出の機会の少ない方々が一堂に会して、ふれあいの中から参加者相互の交流と世代間交流の場となりました。		
課題	・送迎対応策の検討が必要（送迎希望者増・家族送迎・送迎車両増台） ・会場キャパシティの上限と参加対象者の検討		

③ 老人クラブ連合会の育成・支援

内容	当事者の固有な課題の解決、相互援助活動の促進を図るために、活動を支援しました。
----	---

期日	通年		
会員数	1,019人		
目標	会員加入の促進活動増強 地区担当職員との協働		
目標達成度を計る指標	会員数5%増	実績／目標値	1,019人／1,060人
成果	2月会員加入促進運動月間で34人加入（物故者・退会者30人）県内でも会員数増は県内では稀な状況です。		
課題	魅力ある活動を通して積極的な加入運動の見直し		

2) 障がい児者関係

① 足柄上郡障がい者ボウリング大会の開催

内容	障がいをお持ちの方の社会参加を促進する事業の一環として、ボウリング大会（コロナキャットボウル小田原店招待事業）を開催しました。		
期日	1月20日（水）		
会場	コロナキャットボウル小田原店（小田原市）		
参加者数	23人（＊当町からの参加者）		
共催	足柄上5町社協		
目標	土日祝日開催の検討（実行委員会及び企業と調整） 《平日開催の場合、送迎人数に限界がある》		
目標達成度を計る指標	参加者数	実績／目標値	23人／20人
成果	関係団体に早めに周知をし、昨年より8人多い参加となりました。		
課題	・開催会場の検討（企業の社会貢献活動としての位置づけPR強化） ・参加者の費用負担（プレー費）の検討		

② 障がい児者ネットワーク会議の開催

内容	障がいをお持ちの方の生活を支援する一環として、関係機関・団体との情報の共有化と連携強化を図り、ネットワーク化をすすめるために、ネットワーク会議を開催しました。		
期日	3月25日（金）		
会場	福祉会館		
参加者数	5人		
協力	身体障がい者福祉協会、心身障がい児者と家族の会かるがも、KOMNY地域作業所れんげ、地域作業所合力の郷、開成町（福祉課）		
目標	開催時期の変更／9月→2月（全体の事業が概ね終了した時期の開催・平成26年度より変更） 事業報告シート作成		
目標達成度を計る指標	連携強化・終了した事業等の確認、精査	実績／目標値	1回開催／開催（1回） 事業確認済／事業等確認、精査
成果	関係団体の活動内容の詳細を把握することができました。また研修会などの要素を盛り込み、他のボランティア団体などとの連携も深めたいとの意見をいただきました。		
課題	・開催回数の見直しと研修内容の導入 ・ボランティア団体との連携強化（ボランティア活動交流会との合同開催）		

③ 身体障がい者福祉協会と心身障がい児者と家族の会かるがもの育成・支援

内容	当事者の固有な課題の解決、相互援助活動の促進を図るために、活動を支援しました。
----	---

期日	通年		
目標	障がい者以外の団体との共同事業の企画・賛助会員制度の検討（関係団体の協力と加入促進）活動の活性化及び次期役員の育成（情報提供・機能強化）		
目標達成度を計る指標	役員・会員研修会の実施 会員数	実 績／目標値	6回開催／役員研修会の開催 51人／55人（2団体計）
成果	2か月に1回の定期的な役員会を開催し、各種研修、後継者の育成を行いました。 両団体の会員数は、身障協会は増減0（会員数27人）、かるがもは2人増（会員数24人）となりました。		
課題	・賛助会員制度を導入（かるがもは導入済み） ・各団体（イベント）への協力ボランティアの発掘育成		

3) ひとり親家庭関係

① ひとり親家庭ネットワーク会議の開催

内容	ひとり親家庭の生活を支援する一環として、関係機関・団体との情報の共有化と連携強化を図り、ネットワーク化をすすめるために、ネットワーク会議を開催しました。		
期日	3月5日（土）		
会場	福祉会館		
参加者数	5人		
協力	母子寡婦福祉会つくしの会、足柄上保健福祉事務所、民生委員児童委員協議会		
目標	現状把握、関係機関との情報共有		
目標達成度を計る指標	連携強化・開催回数の検討	実 績／目標値	1回／開催（1回）
成果	関係機関相互の情報交換等により現状把握や課題の共有化を図ることができました。		
課題	情報発信の方法の検討や連携強化に向けた取り組みの検討		

② 母子寡婦福祉会つくしの会の育成・支援

内容	当事者の固有な課題の解決、相互援助活動の促進を図るために、活動を支援しました。		
期日	通年		
目標	増加傾向にあるひとり親家庭に対し他市町母子会との交流の場の設定 ニーズにあった活動を展開できるための情報収集、情報交換やレクリエーション等の場の設定		
目標達成度を計る指標	会員数 交流事業参加者	実 績／目標値	17人／20人 開催／交流会事業開催
成果	昨年度に引き続き、県母子連主催の行事へ参加し他市町会員との交流を深めました。このほか、料理講習会へ他市会員を招待するなど積極的に親睦と交流の機会を持ちました。		
課題	年間を通じた会員募集の方法やHPを活用した情報発信方法の検討		

4) 子育て支援関係

① 子育て中の親子のサロン「チビっ子らんど」の開放

内容	福祉会館の一室（2F娛樂室、教養娛樂室）と3F人工芝バルコニー（ひよこ広場）を開放し、おもちゃ図書館的な要素を加味した子育て中の親子のサロンとしてチビっ子らんどを設置し、自由に交流や情報交換ができるスペースを提供しました。 また、毎月第2水曜には、ばたばたママの協力によるおはなし会を開催しました。 さらに、子育て支援センター酒田保育園の協力により、子育て相談や保護者の仲間づくりの一助となるよう、毎月1回チビっ子サロンも併せて開催しました。 初の試みとして、「チビっ子らんどフェスタ」（おはなし会・フリーマーケット）を開催しました。		
----	---	--	--

	①チビッ子らんど	毎週火・木曜（祝日除く）	
期日	②チビッ子サロン	毎月1回木曜	
	③ひよこ広場	通年	
	④チビッ子らんどフェスタ	8月19日（水）	
会場	福祉会館		
参加者数	延925人 ＊前年比43人増		
協力	ぱたぱたママ、子育て支援センター酒田保育園、絵本講師 上甲知子さん、ミクニ書店、つくしの会		
目標	福祉会館の一室（2F娯楽室、教養娯楽室）と3F人工芝バルコニー（ひよこ広場）の開放 子育て中の親子のサロンとしてチビッ子らんどの設置 自由に交流や情報交換ができるフリースペースの提供と定期的にボランティアスタッフを配置、見守り、相談体制の整備 チビッ子らんどフェスタ（仮称）の開催及び子育て世代への社協のPR		
目標達成度を計る指標	参加者数	実績／目標値	925人／1,050人
成果	初開催の「チビッ子らんどフェスタ」は、子育てをされている世代への社協事業のPRの機会として、また地域の子育て中の親子の交流の機会となりました。		
課題	広報紙以外の事業PR方法の検討		

② 子育て支援ニーズ調査の実施（新規）

内容	子育て中の方の生活実態や施策・サービスへの要望等を把握し、課題や福祉ニーズを明確化するとともに、その解決へ向けて現行サービス改善の他、新規サービス創出のための基礎資料とするためにニーズ調査を実施しました。		
調査期間	8月19日（水）～12月25日（金）		
対象	子育て支援事業を利用されている方		
その他	本事業は27年度のみ		
目標	子育て支援事業に対する実情やニーズ把握 既存事業の役割の見直しと新たな事業の創出		
目標達成度を計る指標	実施とまとめ	実績／目標値	調査実施済／調査実施のまとめ
成果	子育てに関するのニーズや要望を把握することができました。今後希望する事業としては、情報提供の充実などの要望が寄せられました。		
課題	- 継続的な要望やニーズ把握 - 新たなサービス創出のための取り組み		

04 広報啓発事業の充実

① 広報紙「社協だよりかいせい」と「かいせい社協かわら版」の発行

内容	本会の活動・事業のPRと福祉情報の提供、福祉意識の啓発・醸成のために広報紙を発行し、町内全世帯、賛助会員及び関係機関等へ配布しました（自主財源確保の一環としての紙面への広告掲載含む）。		
① 社協だより（A4／8㍻）			
発行日	① 5月1日（No.176）	④ 11月1日（No.179）	*計6回
	② 7月1日（No.177）	⑤ 1月1日（No.180）	
	③ 9月1日（No.178）	⑥ 3月1日（No.181）	
発行部数	5,400部（7月のみ5,700部）		
② かわら版（A4／4㍻）			
発行日	① 4月1日（No.95）	④ 10月1日（No.98）	*計6回
	② 6月1日（No.96）	⑤ 12月1日（No.99）	
	③ 8月1日（No.97）	⑥ 2月1日（No.100）	
発行部数	5,300部		
目標	住民に必要な情報の研究、提供、タイムリーな記事の掲載 ロゴ変更（文字はなるべく少なく、表紙に多く写真） モニター制度の導入検討 広報内容の検討（職員ミーティング）		
目標達成度を計る指標	分かりやすく親しみやすい紙面づくりの工夫 新しい記事（コーナー）の企画・掲載 広報紙設置場所を広報	実績／目標値	要検討／紙面研究 モニター準備／モニタリング
成果	新たにモニター制度（2人）委嘱の準備を整えました（かわら版4月号（No.101）より開始）。		
課題	・ 広報紙設置場所のPR強化および設置場所（増）の検討 ・ モニターからの意見を取り入れた掲載記事の検討・改善の継続		

② 社会福祉大会の開催

内容	地域の福祉に関わる関係者が一堂に会し、永年にわたり社会福祉の発展に寄与された方々の功績を称えるとともに、「神奈川県手話言語条例」施行を契機として、手話の普及・啓発を図り、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」をより一層推進するために社会福祉大会を開催しました。 ①式典 オープニングコーラス、功労者表彰・感謝、福祉作文朗読等 ②アトラクション 手話ダンスパフォーマンスライブ ～手話はことば！ パフォーマンスから楽しく手話を理解しよう！～ 出演：HAND SIGN（ハンドサイン）		
期日	11月15日（日）		
会場	福祉会館		
参加者数	438人		
共催	手話サークルかたつむり		
後援	開成町（福祉課）、開成町教育委員会、自治会長連絡協議会、民生委員児童委員協議会		
目標	イベント内容と開催時期の検討（フェスタ形式再検討）。		
目標達成度を計る指標	来場者数	実績／目標値	438人／350人
成果	手話サークルかたつむり側イベントとの初のジョイントによる挙行でしたが、予想を大幅に超える集客数からも、その相乗効果はかなりあったと考えます。特にアトラクションにおいて、ステージと客席が一体となって手話ダンスで盛り上がる光景は圧巻でした。今回の大会趣旨たる「手話の普及・啓発」も十二分に達成できました。		
課題	・ 式典へのアクセント要素の付加 ・ ジョイントする場合、相手先との事前の入念な合意形成と擦り合わせ		

③ ホームページの公開・更新

内容	本会の活動・事業のPRと福祉情報の提供、福祉意識の啓発・醸成のためにホームページを公開・更新しました（福祉会館各部屋の予約状況公開含む）。		
目標	定期更新 住民に必要な情報の研究・提供 アクセス数アップ		
目標達成度を計る指標	アクセス数	実績／目標値	4,118回／3,300回
成果	アクセス数4,118回（8月～3月：8か月）		
課題	・親しみやすいホームページの内容充実、検討 ・モニターからの意見を取り入れた掲載記事の検討・改善の継続 ・アクセス数の確保		

④ 地区別かいせい社協説明会の開催（会員加入の促進とのリンク）

内容	7月の会員加入強化月間に先立ち、地区担当職員が当該地区で行われる組長会議へ赴き、①本会の事業概要と②会員制度・会費納入の各説明（プレゼンテーション）を、自治会役員と組長の皆様を対象に行いました（説明責任の遂行と共助意識の具現化促進目的）。		
期日	①② 5月16日（土／下延沢、宮 台） ⑨ 6月13日（土／円 中） ③④⑤5月17日（日／金井島、榎 本、下 島） ⑩⑪ 14日（日／牛 島、中家村） ⑥ 19日（火／河原町） ⑫ 20日（土／岡 野） ⑦⑧ 24日（日／上 島、パレット） ⑬ 21日（日／上延沢） *計13回		
会場	当該地区の自治会館等集会施設		
参加者数	延401人 *前年比22人増		
共催	開催地の自治会		
目標	よりわかりやすいプレゼンテーションの遂行（見える化） 社協（会員制度含む）の必要性の訴求		
目標達成度を計る指標	参加者数 社協認知度の向上	実績／目標値	401人／390人 @30.8人／（地区平均30人）
成果	会費納入にあたりご支援を仰ぐ自治会役員と組長の皆様へ、説明責任遂行を目的として毎年度定例的に開催することにより、本会への継続的な理解促進に寄与できています。		
課題	・より分かりやすいプレゼンテーションの工夫（見える化） ・子育て支援事業紹介等による若年層への訴求		

05 福祉教育事業の充実

① 福祉ふれあい教育推進事業への助成

内容	酒田・酒田みずのべ保育園、開成幼稚園、開成・開成南小学校、文命中学校及び吉田島総合高等学校が各々実施する福祉ふれあい活動に対して助成するとともに、講師の派遣や情報提供等を行い、活動を支援しました。 ①開成幼稚園 ～敬老会手作り作品プレゼント ②酒田保育園 ～ふれあい交流会へ出演協力（おゆうぎとうた） ③開成小学校４年生 ～総合的な学習の時間～公共施設見学（福祉会館） ④開成小学校４年生 ～共に生きる（手話体験学習） ⑤開成南小学校４年生～総合的な学習の時間～公共施設見学（福祉会館） ⑥同成南小学校４年生～総合的な学習の時間～共に生きる（手話体験学習） ⑦文命中学校１年生 ～総合的な学習の時間～福祉体験（手話体験学習） ⑧吉田島総合高等学校～かるがもクリスマス会協力（フラワーアレンジメント） ⑨同　２・３年生 ～福祉科社会福祉基礎福祉体験プログラム （誘導・車イス・点字・手話・認知症サポーター養成講座等） *計9回		
期日	通年		
助成数・金額	3件（開成小学校、開成南小学校、文命中学校）　30,000円		
協力	ボランティアグループ四つ葉、手話サークルかたつむり、点字グループ若葉、地域包括支援センター		
目標	助成金交付要領の見直し・改正 活動内容の把握		
目標達成度を計る指標	支援内容の精査 相互の行う事業への正しい理解と協働・協力	実績／目標値	見直し済み／助成金要項見直し 1回／連絡会：2回
成果	各校が希望する福祉教室のコーディネート（連携）ができました。		
課題	助成金交付申請方法および周知の徹底（申請書事前提出、局内査定、交付決定）		

② 小・中学生福祉作文コンクールの実施

内容	作文をとおして社会連帯を基調とした福祉への理解と関心を深め、福祉活動への主体的な参加意識を育むために、小・中学校の児童・生徒を対象にコンクールを実施しました。 審査会では、小・中学生の部それぞれに優秀賞3篇（町社協会長賞、共同募金会開成町支会長賞、開成町教育長賞）、優良賞2篇、佳作5篇の各10篇を選出しました。 また、入選作品を文集化し、小・中学校や社会福祉大会にて配布するとともに、入選された児童・生徒に朗読・発表いただきました。 なお、上位作品を神奈川県福祉作文コンクール（神奈川県共同募金会等主催）に応募したところ、次の方が入選されました。 小学生の部 優秀賞：笠間康平さん（開成5年）、準優秀賞：瀬戸美咲さん（開成南4年）、佳作：田淵湊翔さん（開成南4年）、美濃島由智さん（開成南5年） 中学生の部 準優秀賞：中野有純さん（3年）		
募集期間	7～8月		
審査会期日	9月30日（水）		
応募数	①小学生	519篇 *計	541篇
	②中学生	22篇	
後援	開成町教育委員会		
協力	開成小学校 開成南小学校 開成町立文命中学校		
目標	作文を通して、「思いやり」や「たすけあい」の意識醸成 応募数の増（中学校で取り組み強化）		
目標達成度を計る指標	応募者数	実績／目標値	541人／500人
成果	第39回神奈川県福祉作文コンクールにおいて、小学生の部4人（優秀賞①、準優秀賞①、佳作②）、中学生の部1人（準優秀賞）に入選いたしました。		

課題	- 審査会の運営と作文集の製作 - 応募者増への取り組み
----	---

○③ ふくしー日教室の開催

内容	より多くの子どもやその親たちが「ふくし」について考えるきっかけづくりとして様々な体験学習の機会を提供し、「ふくし」に対する理解と関心を深め、“助けあいの心・他人を思いやり共に生きていくやさしい福祉の心”を育むことを目的に開催しました。 ①認知症サポーター講座 ②視覚障がい者の理解《誘導体験・盲導犬デモンストレーション》 ③聴覚障がい者の理解《手話体験・聴導犬デモンストレーション》 ④自助具製作体験 ⑤福祉用具展示・説明 ⑥障がい者とお話しよう		
期日	7月28日（水）		
会場	福祉会館		
参加者数	170人		
後援	開成町教育委員会		
協力	開成小学校 開成南小学校 公益社団法人日本補助犬協会 神奈川県聴覚障害者福祉センター NPO法人聴導犬育成の会 ボランティアグループ四つ葉、足柄上ろうあ福祉協会、手話サークルかたつむり、福祉ボランティア点字グループ若葉、メディカルサービスおかもと、富士ライフサポート、開成町身体障害者福祉協会 かながわ自助具工房		
目標	H26年度実施の「小学生ふくしー日教室」と「親子ふくし教室」の統合体験プログラム中心とする開催		
目標達成度を計る指標	参加者数 費用対効果	実績／目標値	170人／84人
成果	講座→デモンストレーション（盲導犬、聴導犬）→体験学習（誘導、手話、点字）をプログラムすることができ、多くの参加を得られました。 福祉教育としての“種まき”的な活動としては十分成果があったと思われるが、他の事業や機関につなげることも重要性が認識できました。		
課題	・会場内の移動（動線の確保）と案内表示の検討 ・体調不良者等の対応（看護職員と休養室の確保）		

⑤ 福祉教育関係者連絡会の開催

内容	福祉教育事業とボランティア育成事業との整理を前提として、福祉教育プログラムの充実と継続的な支援体制の確立及び学校等教育機関との連携強化を図るために、連絡会を開催しました。		
期日	①6月1日（月） ②未開催	＊計1回	
会場	福祉会館		
参加者数	7人		
協力	酒田・酒田みずのべ保育園、開成・開成南小学校、文命中学校、吉田島総合高等学校、開成町教育委員会		
目標	活動内容の把握 連絡会の開催回数及び時期（6月・2月）の検討		
目標達成度を計る指標	協働事業の創出・展開	実績／目標値	1回／実施
成果	本会から園・学校への依頼内容の確認や事業終了後の成果などを共有できました。		
課題	情報交換の場としての定期開催		

⑥ 資格取得のための学生等実習生の受入

内容	社会福祉士資格取得をめざす学生を、その実習先として受け入れました（社会福祉援助技術現場実習）。		
期日	通年（実習期間は1人あたり概ね1週間～1ヶ月） *計5回（5人）		

目標	社会福祉士資格取得をめざす学生の受け入れ（社会福祉援助技術現場実習）		
目標達成度を計 る指標	受入学生数	実 績／目標値	5人／5人
成果	例年になく多くの実習生の受け入れをしました。うち1人は平成28年度から生活支援コーディネーターとして採用が決まりました。		
課題	教育機関の都合や実習生の希望により受入学生数は変動しますが、広くホームページや広報で受入可能である旨の周知を引き続き図っていく必要性があります。		

06 事業推進体制の整備

1) 会務等

① 理事会の開催

内容	執行機関である理事会を、福祉会館にて6回開催しました。		
① 期日	5月20日（水）		
出席者数	理 事：10人、監 事：2人		
議題	①通所介護事業運営規程及び介護予防通所介護事業運営規程の一部改正について ②平成26年度事業報告について ③平成26年度一般会計決算について 監査報告 ④平成27年度一般会計補正予算について ⑤評議員の選任について ⑥その他		
② 期日	6月17日（水）		
出席者数	理 事：10人、監 事：2人		
議題	①副会長の選任について ②（役員の一部交替に伴う）理事担当部会について ③会員加入の促進（会員募集）について ④その他		
③ 期日	8月25日（火）		
出席者数	理 事：11人、監 事：2人		
議題	①敬老会の開催について ②共同募金の実施について ③社会福祉大会の開催について ④その他		
④ 期日	10月7日（水）		
出席者数	理 事：11人、監 事：2人		
議題	①社会福祉大会の開催について ②敬老会の開催（反省）について ③役員視察研修（町単・広域）の開催について ④その他		
⑤ 期日	12月10日（木）		
出席者数	理 事：10人、監 事：2人		
議題	①平成28年度当初予算編成に伴う町補助金要求経過について ②その他		
⑥ 期日	3月17日（木）		
出席者数	理 事：11人、監 事：1人		
議題	①職務権限規程の改正について ②経理規程の一部改正について ③平成27年度補正予算について ④平成28年度事業計画について ⑤平成28年度予算について ⑥かいせい社協発展・強化計画（H28-32）について ⑦その他		
出席率	87.5%（＊平均）		
目標	各種会議の機能強化 出席率の向上		
目標達成度を計る指標	理事会への理事の出席率	実 績／目標値	87.5%／100%
成果	役員各位から建設的・活発な質問や意見等が多く寄せられ、法人運営への主体的な参画意識が醸成されつつあります（年6回開催は県西地区最多）。		

課題	問題意識の共有化を図り、「アイデアのゆりかご」として議論することにより、問題提起等、真の執行機関にふさわしい役割発揮をすすめます。
----	---

② 監事会の開催

内容	監査機関である監事会を、福祉会館にて3回開催しました。
① 期日	5月 8日（金）
出席者数	監 事：3人
議題	平成26年度事業及び会計に関する決算監査
② 期日	9月28日（月）
出席者数	監 事：3人
議題	平成27年度（4～7月）事業及び会計に関する中間監査（第1回）
③ 期日	1月13日（水）
出席者数	監 事：3人
議題	平成27年度（8～11月）事業及び会計に関する中間監査（第2回）
成果	中間含め年3回監査を実施することにより、定期的なチェック体制が構築されつつあります。
課題	監査提出資料（主に会計面）に工夫が必要。

③ 評議員会の開催

内容	議決機関である評議員会を、福祉会館にて2回開催しました。
① 期日	5月26日（火）
出席者数	評議員：22人、理 事：3人、監 事：1人
議題	①通所介護事業運営規程及び介護予防通所介護事業運営規程の一部改正について ②平成26年度事業報告について ③平成26年度一般会計決算について 監査報告 ④平成27年度一般会計補正予算について ⑤役員（理事・監事）の選任について ⑥その他
② 期日	3月24日（木）
出席者数	評議員：21人、理 事：4人、来 賓：2人
議題	①職務権限規程の改正について ②経理規程の一部改正について ③平成27年度補正予算について ④平成28年度事業計画について ⑤福祉基金積立金の一部取り崩しについて ⑥平成28年度予算について ⑦その他
出席率	82.7%（＊平均）
成果	評議員各位から第三者性を有した活発な質問や意見等が寄せられ、最終議決機関にふさわしいスタイルとなりつつあります。
課題	発言者が固定化されるさらいがあるため、進行方法に工夫が必要。

④ 理事担当部会（総務・事業）の開催

内容	理事担当部会（総務、事業）を、福祉会館にて計2回開催しました。
1) 総務部会	
① 期日	3月15日（火）
出席者数	総務部会担当理事等：0人
議題	理事会に先んじて内容の確認の予定でしたが、欠席者が多かったため中止しました。

2) 事業部会

① 期日	8月19日（水）
出席者数	事業部会担当理事等：4人
議題	①社会福祉大会の開催について ②その他
成果	役員各位が理事会とは別に本会運営について幅広くかつ率直に参画・議論できる場として機能しています。
課題	開催時期、回数

⑤ トップミーティング（経営者会議）の開催

内容	トップマネジメント構築へ向けた合意形成を図るために、正副会長、常務理事、事務局長の計5人によるミーティング（理事会開催前の事前協議等）を、福祉会館にて6回開催しました。		
期日	① 5月12日（火） ② 8月21日（金） ③ 6月10日（水）	④10月 7日（水） ⑤12月10日（木） ⑥ 3月17日（木）	*計5回
成果	理事会に先立ち、本会全体のマネジメントについて協議し、コンセンサスを得る場として機能しています。		
課題	本会の経営・運営方針や社会的使命、将来像、戦略の立案。		

⑥ 役員研修会の開催

内容	役員研修会を、2回開催しました。		
1) 役員研修会			
期日	11月2日（月）		
会場	町役場		
出席者数	理 事：9人、監 事：2人 *開成町議会議員との懇談会として実施		
内容	①社会福祉協議会の概要（説明） ②懇談（意見交換）		
2) 足柄上地区・西湘地区（2市8町）社協役員合同研修会			
期日	12月2日（水）		
会場	福祉会館		
出席者数	理 事：6人、監 事：2人（*当町からの出席者）		
内容	講演 いま求められる社協活動の方向性 講師 中 村 美安子 さん（神奈川県立保健福祉大学准教授）		
出席率	63.3%（*平均）		
目標	役員各位の問題意識の共有化		
目標達成度を計る指標	研修会への役員の出席率	実 績／目標値	63.3%／100%
成果	1) については、町議会側からの町内各種団体向け呼びかけに本会側が呼応するかたちで初めて場面設定がなされ、本会の概要説明の後、議員各位と率直な意見交換が図れたことは大いなる前進でした。		
課題	今後の持ち方として、①内部研修と②外部研修（先進地視察）を1年毎交互に企画・実施することにより、役員各位のさらなる資質向上に寄与したいと考えます。		

⑦ かいせい社協改革推進会議の開催

内容	H26年度町あて回答した「かいせい社協法人運営改革委員会報告」記載事項の着実な遂行と評価及び必要な補正等を行うことを目的として推進会議を、福祉会館にて3回開催しました（委員長：小澤 清司 本会副会長／委員：6人／H26年度からの継続）。		
① 期日	4月28日（火）		
出席者数	委 員：6人		
議題	①法人運営改革委員会検討結果（内容）の進捗状況について ②法人運営における諸課題について ③その他		
② 期日	9月16日（水）		
出席者数	委 員：6人		
議題	①法人運営改革委員会検討結果（内容）の進捗状況について ②法人運営における諸課題について ③その他		
③ 期日	2月24日（水）		
出席者数	委 員：5人		
議題	①法人運営改革委員会検討結果（内容）の進捗状況について ②法人運営における諸課題について ③その他		
達成率	95.0%		
目標	同改革委員会報告記載事項のモニタリングとチェック		
目標達成度を計る指標	（項目ごと記載）実施予定年次の達成率	実 績／目標値	95%/100%
成果	改革委員会報告記載事項が、自律性と継続性をもって着実に実践・履行されるよう評価・モニターいただくとともに、補正にあたっての必要な助言等をいただきました。		
課題	理事会・評議員会とは役割・機能の異なる第三者評価委員会のチェック機関設置による法人運営への継続的支援方策の検討		

⑧ かいせい社協発展・強化計画（H28－32）の策定

内容	開成町らしい地域福祉の推進をめざして、地域住民・社会福祉協議会・町が協働で取り組む共通理念や目標を掲げ、各推進主体が果たす役割を明確化することを目的として「第2次開成町福祉コミュニティプラン」（＝町地域福祉計画／町社会福祉協議会地域福祉活動計画）を町と協働して合同策定しました。 また、同プランを着実に遂行・実践するために必要な本会の発展・強化計画（H28－32）を別途策定しました。 《内容》 1) 経営ビジョン 2) 経営戦略 ①重点事業の推進 ②組織基盤の強化 ③財政基盤の強化		
目標	「第2次開成町福祉コミュニティプラン」策定 （地域福祉推進における共通理念（方向）の確立と役割分担の明確化） 本会発展・強化計画の策定 （事業推進のための基盤強化策（アクションプラン）の合意形成）		
目標達成度を計る指標	本会発展・強化計画の策定	実 績／目標値	審議中／策定
成果	理念計画としての福祉コミュニティプランをより実体化させるとともに、町あて回答した改革内容を加速させ、自律的経営へ向けた組織運営基盤の強化を図る必要がある一との認識から、アクションプランたる発展・強化計画を理事会での合意形成後、策定することができた。		
課題	PDCAサイクルによる本計画の着実な遂行と理事会における適切な評価・反映		

⑨ 職員会議の開催

内容	職員の資質・専門性の向上と情報・課題意識の共有化を図るために、職員会議を福祉会館にて開催しました。		
1) 常勤職員ミーティング			
期日	毎週1回 *会長・常務理事含む		
2) PDCAミーティング（事業進捗状況のチェック機能）			
期日	毎月1回		
3) その他（居宅、通所、給食、包括 各部門別ミーティング）			
期日	毎月各1回他		
目標達成度を計る指標	週1回以上の開催によるコミュニケーション強化	実績／目標値	相互理解・機能強化 ／相互理解の深化
成果	専門職員間の情報・課題意識の共有化がすすみました。		
課題	コミュニティワーク含む地域福祉援助技術等専門技術のレベルアップ。		

⑩ 職員の資格取得促進と各種研修等への参加

内容	職員の資質・専門性の向上を図るために、神奈川県社協等主催による各種研修会・研究会に随時積極的に参加しました。		
成果	各担当業務にかかる専門知識・技術の修得がすすみました。 職員1人が管理職研修を受講いたしました。		
課題	体系的研修プログラムの立案と計画的な受講		

2) 財源の確保

① 会員加入の促進と会員構成の拡充（一部新規）

内容	住民組織、公私社会福祉事業関係者をはじめ、幅広い分野からの参加を得、地域社会の総意を結集することとあわせて、社会福祉への関心の喚起、町社協への参加意識の醸成のために、一般会員は全世帯加入を、賛助会員は新規加入促進を各々目標に、町社協会員の募集と会費徴収を行いました。		
募集月間	7月		
加入結果	①一般会員（一般世帯） 3,957世帯（4,472口／加入率62.6%） *年額1口 500円～ *前年比57世帯増 ②同（各種団体） 77団体（ 555口） *年額1口 500円～ *前年比12団体増 ③賛助会員（法人、企業等） 144社（ 256口） *年額1口3,000円～ *前年比05社増		
協力	自治会		
目標	現行の会員加入率63.5%（H26実績）を自治会加入率相当の約80%まで引き上げ （当座の目標／=自治会加入世帯は100%本会会員） 最終的には町内全世帯加入		
目標達成度を計る指標	一般会員（世帯）加入率	実績／目標値	63.5%／70%
成果	①一般会員（世帯）、②同（各種団体）、③賛助会員とも前年比増となりました。 一般会員（世帯）の加入率は、分母を全世帯数とした場合は前年比微減、分母を自治会加入世帯数とした場合は同微増の結果となっています。 一般会員（各種団体）と賛助会員については、案内先としてピックアップした数を前年より増やした結果、新規会員が伸びています。 また、本年度新たな試みとして、賛助会員募集に際し役員各位に町内企業あて直接訪問いただき（職員随行）、トップセールス（後方支援）いただきました。		

課題	事前の説明会においては、本会概要～会費納入手順の一体性・連続性を考慮しつつ、地区担当職員がコミュニティ・ワークの一環として各担当地区へ赴き、自治会役員・組長各位へプレゼンテーション（セールス）させていただきました（説明責任遂行）が、若い組長様も増えているなか、今後においては幅広い層へのより分かりやすい（本会の必要性が身近に感じられる）説明方法の工夫が必要です。
----	---

② 寄付寄託者の拡大

内容	住民の皆さんから寄せられた善意の寄付金品等を受け入れるとともに、寄付寄託者の拡大を図り、自主財源の確保に努めました。 また、賛同いただいた企業や商店等に募金箱「善意の小箱」を設置させていただき、積極的に寄付金を募りました。		
期日	通年		
寄付件数	①寄付金	76件	
	②寄託品	20件	
	*計	96件 *前年比23件増	
同 金額	①一般受付分	966,735円	
	②善意の小箱（*設置協力店舗数：32店舗）	73,186円	
	*計	1,039,921円 *前年比74,891円増	
目標	寄付金額の前年比増 （善意の小箱設置場所増）		
目標達成度を計る指標	寄付金額	実 績／目標値	1,039,921円／1,100,000円 *H26目標同額
成果	寄付件数・金額とも前年比増となりました。金額増もさることながら、件数が着実に増えていることは福祉活動への間接的支援たる寄付行為が広がりがつつある証といえます。		
課題	寄付金受入については、その結果を本会広報紙に都度掲載・報告していますが、積極的に寄付を募る等攻めの姿勢までは至っていません。本会が実施する地域福祉推進事業の財源としての活用状況含め、周知・PRに一層の工夫が必要です。		

③ 福祉基金の増強

内容	果実（利息）等を自主事業の安定した財源とするために、寄付金収入等により福祉基金の増強に努めました。		
期日	通年		
積立等結果	①本年度積立額	1,201,945円	
	②同 取崩額	1,250,000円	
	③累計	78,360,945円	
目標	健全運営をめざした（避難的）基金取り崩しの回避 福祉基金積立金の増額。		
目標達成度を計る指標	保有額の増	実 績／目標値	78,360千円／77,709千円
成果	住民各位からの寄付金を新規に積み増しすることができましたが、ほぼ同額を崩し収入補てんせざるをえない状況が続いています。		
課題	・基金と積立金の位置づけ（本来趣旨と役割、整合性）の明確化 ・原資取り崩しを極力抑えた法人財務体質の健全化		

④ 共同募金の実施

内容	神奈川県共同募金会開成町支会主管による共同募金に協力しました。 なお、お寄せいただいた寄付金は、①赤い羽根共同募金分については神奈川県共同募金会へ全額送金するとともに、②年末たすけあい募金分については一部施設への配分を除き、翌年度の町社協事業費として活用させていただきます。
----	--

募金月間	10～12月		
同 結果	①戸別募金	1,959,600円	⑤学校募金 73,170円
	②街頭募金	66,316円	⑥その他の募金 20,386円
	③法人募金	223,118円	*計 2,414,554円
	④職域募金	71,964円	*前年比243,598円減
戸別募金協力	各自治会		
街頭募金協力	町長、町議会議員、民生委員児童委員協議会委員、KOMNY地域作業所れんげ、地域作業所合力の郷、マックスバリュ開成店・開成駅前店、小田急開成駅		
目標	神奈川県共同募金会開成町支会主管による共同募金運動に協力し、民間社会福祉事業の振興に寄与します。		
目標達成度を計る指標	寄付金額	実 績／目標値	2,414,554円／2,750,000円 H26目標同額
成果	前年比20万円強の減となりました。本会への寄付金増の反動かとも推察されますが、募金種別では①法人募金と②職域募金が前年比増となっており、新たな潮流として期待できます。運動のPR的役割を果たす街頭募金では、多くの関係機関・団体の方々の協力をいただきました。		
課題	国民たすけあい運動の一環として実施される共同募金は、本会を含む民間福祉活動を資金面から支えるために重要かつ不可欠であることから、引き続き「たすけあいの心の普及」を基調とした各種募金活動を積極的に展開してまいります。		

3) 連絡調整機能の充実

① 公私社会福祉事業関係機関・団体等との連携

内容	公私社会福祉事業関係機関・団体等と連携し、協働事業の推進を図りました。 なお、他機関・団体からの要請・依頼に応じ、本会役職員が着任・参画した委員会等は、次のとおりです。 ①開成町 高齢者保健福祉事業運営協議会 委員 (事務局長) ②同 協働推進計画策定作業部会 同 (同) ③同 次世代育成支援対策地域協議会 同 (担当職員) ④足柄上郡福祉会 (あしがら広域福祉センター) 評議員 (事務局長)		
期日	通年		
連携先	開成町、自治会長連絡協議会、民生委員児童委員協議会、共同募金会開成町支会、ともしび運動推進協議会、NPO、近隣社協		
目標	各機関との有機的連携強化		
目標達成度を計る指標	連携・ネットワークの強化	実 績／目標値	連携強化／有機的連携
成果	地域福祉推進のコーディネート役たる機能を柔軟に発揮し、関係機関・団体と連携しつつ、福祉のまちづくりをすすめました。		
課題	地域福祉推進における本会としての明確な将来像の確立と協働事業の具体的展開。		

② 福祉会館の管理・運営（*指定管理者制度事業）

内容	福祉会館の施設・設備の維持・管理並びに利用に伴う運営を行いました。また、利用案内等を広報紙に随時掲載し広くPRに努めるとともに、開成町とも連携を密にし施設利用の充実を図りました（本会ホームページ上にて福祉会館各部屋の予約状況公開含む）。 また、①酒田・酒田みずのべ保育園及び②開成幼稚園の園児、③開成・開成南小学校や④文命中学校の児童・生徒の絵画等作品を、年間をつうじて会館1F（多目的ホール西側）に展示しました。		
期日	通年		
利用回数	延2,319回 *前年比303回減		
同 者数	延36,457人 *前年比35,701人減		
その他	詳細「資料1」のとおり 利用回数及び利用者数の各実績は、27年度からカウント方法を変更したため、前年度と算出基準が異なっています。		

目標	自主事業の定着実施 インターネットでの施設予約調査研究（神奈川県公共施設利用予約システムなど） 避難誘導訓練の実施		
目標達成度を計 る指標	利用回数・人数等の増加 上半期 2,102回／31,814人 利用料1,328,798円 補填,154,093円	実 績／目標値	2,319回／2,800回
成果	- 平成7年5月10日に福社会館の開館以来、管理業務・運営を開成町から一貫して委託されてきました実績と今後の方針が評価され、第3期（28～32年度）指定管理者として指定を受けました。 - 会館の予約状況をホームページでリアルタイムに公開して、利用者の利便を図りました。		
課題	第3期指定期間（28～32年度）の単年度ごとに27年度実績の稼働率を基準として、2%ずつアップ（5年間10%）を最低限クリアする。		

③ 民生委員児童委員協議会の運営・支援

内容	地域福祉推進のパートナーたる同協議会の事務局として、運営を支援しました。		
期日	通年 ＊定例会及び役員会：毎月各1回開催		
目標	民生委員児童委員協議会の機能強化（定例会の開催、研修会の開催）		
目標達成度を計 る指標	活動日数（年延） 研修会の開催	実 績／目標値	4,998回／5,300回
成果	活動日数は述べ4,998日でした。 平成22年度から事務局を担うことにより、両者の連携協働体制がより強化され、地域福祉活動の着実な進展が図られつつあります。また、平成24年度から受託した地域包括支援センター事業においても、各地区の民生委員児童委員との連携が発揮され、住民の安心に寄与できています。		
課題	- 予算措置なし（民児協より事務用品購入等一部負担あり） - 事務局運営の多様化 - 民児協の主体性の確保		

□ 福祉サービス部門 □

福祉サービス利用支援 関係

07 安心センター事業の充実

① 日常生活自立支援事業の実施（※県社協受託事業）

内容	判断能力が不十分な高齢者や障がいをお持ちの方の日常生活上の金銭管理、財産の保全及び福祉サービスの利用を支援するために、日常生活自立支援事業を受託・実施しました。		
期日	通年		
契約締結 審査会	奇数月第2木曜	*計6回	
		*足柄上5町社協合同設置・開催	
相談件数	延481件		
訪問活動件数	延195件		
契約者数	延15人（うち、新規6人 終了1人）		
支援員数	延 1人（非常勤職員）		
目標	必要な方に利用いただくための適切に事業説明及びアセスメントの実施 契約者の状況に応じた他機関との連携及び他制度への移行		
目標達成度を計 る指標	該当者への適切な支援 モニタリングの実施	実 績／目標値	15人／契約人数10人
成果	行政や地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等との連携により、支援を必要とする6人の新規利用契約をしました。また、必要な支援を適切に行いました。		
課題	・契約者の増に伴い、生活をサポートしていくための生活支援員の増員 ・本事業の対応範囲を超えるケースへの対応（判断能力低下に伴う成年後見制度への移行）		

② 福祉対象者カルテの整備・活用

内容	在宅での援助を必要とする高齢者や障がいをお持ちの方等の個別状況を把握し、適切なサービス提供へつなげることとあわせて、関係機関・団体との情報の一元化を図るために、名簿を整備し活用しました。		
期日	通年 *更新2回／年（9・2月）		
連携先	開成町（福祉課）、地域包括支援センター、民生委員児童委員協議会		
目標	年2回（9・2月）に情報を更新 リアルタイムな情報を整備と適切なサービス利用支援		
目標達成度を計 る指標	年2回（9・2月）に情報を更新 リアルタイムな情報を整備と適切なサービス利用 支援	実 績／目標値	2回／更新2回 777人／750人
成果	各種サービス利用者・登録者の個別状況を把握・一元化して、関係機関・団体と情報の共有化ができました。①756人（9月） ②777人（2月）		
課題	・カルテ掲載への拒否希望者の対応 ・要援護対象者の対応・取り扱い方法		

③ 法人後見事業の調査・研究

内容	判断能力が不十分な高齢者や障がいをお持ちの方の権利を擁護するための法人後見事業について調査・研究しました。		
期日	通年		
連携先	自立支援協議会権利擁護部会 足柄上地区ネットワーク連絡会		
目標	法人後見事業について調査・研究 今後の方向性の確立（第2次開成町福祉コミュニティプラン及びかいせい社協発展強化計画への位置づけ）		

目標達成度を計 る指標	成果のまとめ 方向性を確立	実 績／目標値	要検討／方向性確立 (発展強化計画へ位置づけ)
成果	自立支援協議会権利擁護部会と足柄上地区ネットワーク連絡会へ参加し情報交換や近隣町の状況を把握しました。		
課題	今後の方向性の確立		

08 総合相談・援護事業の充実

① 総合生活相談の実施

内容	住民の皆さんの日常生活上のあらゆる相談に応じ、関係機関との連携のもと、適切な助言と援助を行うことにより、福祉ニーズの問題把握から解決までの一貫した相談援助体制を確立するために、総合生活相談所を開設しました。 一般相談及び専門相談（法律・法務）。		
期日	1) 一般相談	毎月第2・4火曜	計23回
	2) 専門相談		
	①法律	毎月最終火曜	計12回
	②法務	毎月第3土曜	計12回
			*計47回
会場	福祉会館		
相談員数 及び 同 件数	1) 一般相談（相談員：民生委員児童委員、主任児童委員）	2人／回	5件
	2) 専門相談		
	①法律（相談員：弁護士）	1人／回	26件
	②法務（同：行政書士）	2人／回	22件
			*計53件
同 内訳	①財産・相続	24件	④土地 4件
	②離婚	6件	⑤金融 4件
	③家族	6件	⑥その他 11件
			*計（重複あり） 55件
協力	民生委員児童委員協議会、横浜弁護士会、小田原行政書士会		
目標	一般相談（23回）法務相談（12回）法律相談（12回）の開設		
目標達成度を計 る指標	相談受付体制の整備・強化	実 績／目標値	---／充実
成果	定期的に相談窓口を開設することにより、住民各位のいざというときの駆け込み寺的な安心感につながっています。 福祉ニーズのキャッチ（問題把握）ができます。		
課題	・相談所開設PR・広報を拡充して、より相談しやすい相談所としていく。		

② 生活福祉資金の貸付（＊県社協受託事業）

内容	低所得、障がい、高齢者世帯等の生活の安定及び修学のために必要な資金の貸付と相談指導を行いました。		
期日	随時		
相談件数	10件（生活福祉資金0件、総合支援資金3件、臨時つなぎ資金0件、緊急小口4件、問い合わせ3件）		
貸付件数	0件		
協力	民生委員児童委員協議会		
目標	低所得、障がい、高齢者世帯等の生活の安定 修学のために必要な資金の貸付と相談指導 償還に関する相談指導		
目標達成度を計 る指標	相談受付体制の整備・強化 償還率	実 績／目標値	貸付0件／償還率100%
成果	低所得、障がい、高齢者世帯等からの資金貸付に関する問い合わせ・相談対応を行いました。		
課題	・償還滞納者への対応（所在不明者の取り扱い） ・相談者や借受者への他サービスへのつなぎフォロー		

③ 小口（緊急）資金の貸付

内容	教育、自立更生、疾病治療、生活安定等のために緊急に必要な資金の貸付と相談指導を行いました。		
期日	随時		
相談件数	6件		
貸付件数	2件		
目標	緊急に必要な資金の貸付と相談指導		
目標達成度を計る指標	相談受付体制の整備・強化 他制度、他サービス機関との連携	実績／目標値	貸付2件／償還率100%
成果	低所得、一時的な生活困窮者への貸付相談に対応して、生活安定に向けた一助として貸付を行いました。		
課題	・償還滞納者への対応（所在不明者の取り扱い） ・相談者や借受者への他サービスへのつなぎフォロー		

④ 年末たすけあい援護費の支給

内容	年末たすけあい募金（神奈川県共同募金会開成町支会主管）へ寄せられた寄付金の一部を激励金として町内2ヶ所の障がい者地域作業所へ配分しました。		
期日	12月20日（金）		
内訳	①れんげ	100,000円 *計	120,000円
	②合力の郷	20,000円	
目標	町内2ヶ所の障がい者地域作業所への配分		
目標達成度を計る指標	配分先・方法の見直し 障がい者地域作業所への継続配分	実績／目標値	120,000円／計120,000円
成果	激励金としての配分により財政的支援が図れました。配分結果報告を受けることで配分先の活動内容等の状況把握ができました。		
課題	配分先と配分額の妥当性の検討		

⑤ 交通遺児援護費（県社協受託事業）の支給

内容	交通遺児を激励するために、該当者の小・中学校及び高等学校の入学・卒業時に激励金をそれぞれ支給します。		
期日	3月		
支給額	50,000円		
目標	該当者への適切な支給		
目標達成度を計る指標	交通遺児を激励するための該当者への激励金を支給	実績／目標値	支給済み／交通：該当者1人
成果	高校卒業1件支給		
課題	本年度以降該当者なし		

* 災害見舞金は、今年度支給対象なし

在宅福祉サービス 関係

09 在宅福祉サービスの推進（介護保険外）

① 福祉機器貸与事業の実施

内容	在宅で日常生活をおくることに支障のある高齢者や障がいをお持ちの方等に対し、必要とする福祉機器を貸与し、その在宅生活を支援しました。 対象 ①高齢者または身体障がい者（要介護認定された方除く） ②要介護認定され、介護保険給付サービス「福祉用具貸与」を利用する方（給付まで） ③介護保険給付サービス「福祉用具貸与」の対象外の福祉機器を利用する方 ④一時的に負傷し、福祉機器が必要な方 ⑤町外在住の方を一時的に預かる方		
期日	通年		
利用件数	①車イス 38件（27） ②ポータブルトイレ 2件（10） ③ベッド 6件（8）	④シャワーイス 2件（4） ⑤その他 5件（5） ＊計 53件 ＊（ ）は保有台数	＊前年比12件増
利用者数	延34人（団体含む）		
目標	必要時に迅速に貸出が行えるよう所有する機器の在庫管理、メンテナンス要項の一部改正		
目標達成度を計る指標	利用件数 要項の一部改正	実績／目標値	53件／200件
成果	使用できない機器の廃棄を行い、在庫管理とメンテナンスを実施しました。要項を一部改正し利用しやすい料金体型としました。		
課題	在庫管理に必要な保管スペースの確保		

② ふくし移送サービスの実施

内容	歩行困難な高齢者や障がいをお持ちの方に対し、日常生活上の移動手段による利便提供として、ふくし移送サービスを実施しました。 ＊福祉有償運送対応事業		
期日	通年		
利用件数	1) 目的地別 ①足柄上病院 68件 ⑭小林病院 1件 ②北小田原病院 13件 ⑮岡部医院 6件 ③白鷗医院 5件 ⑯日赤赤十字病院 2件 ④二宮たまご薬局 27件 ⑰白鷗医院 5件 ⑤小田原市立病院 23件 ⑱東海大学病院 3件 ⑥草の家 24件 ⑲ダイデンタルクリニック 1件 ⑦小沢病院 1件 ⑳デイサービスセンター大楽 2件 ⑧安藤眼科 7件 ㉑鶴巻温泉病院 1件 ⑨横浜子ども医療センター 9件 ㉒茅ヶ崎中央病院 1件 ⑩お堀端クリニック 2件 ㉓おぎの整形外科 1件 ⑪神奈川リハビリセンター 6件 ㉔小田原循環器病院 3件 ⑫西湘病院 1件 ㉕熊沢皮膚科 1件 ⑬坪井歯科 1件 ＊計 214件 2) 内容別 ①通院 189件 ②入所・退所（施設） 25件 ＊前年比63件増		

登録者数	①利用者 47人（うち、実利用者35人、新規22人） ②支援者 8人（在宅福祉サポーター／運転業務）		
目標	利用しやすいサービスへの移行検討 利用件数の増（利用範囲の検討）に向けて新たな周知方法を検討		
目標達成度を計る指標	利用件数 アセスメントとモニタリング	実 績／目標値	214件／140件
成果	要項の一部改正により、アセスメントの結果によってお一人でも利用できるように利用対象者を拡大した結果、利用件数が増加しました。		
課題	利用料金を時間計算から距離計算にし、より利用しやすく要項を変更します。		

③ 軽度生活援助事業の実施

内容	65歳以上の高齢者のみの世帯等に対し、軽易な日常生活上の援助を行い、自立した生活の継続を可能にするため、軽度生活援助事業を実施しました。		
期日	通年		
利用件数	1) 派遣別		
	①社会福祉協議会	368件 *計	430件
	②シルバー人材センター	62件	
	2) 内容別		
	①清掃、整理整頓	340件 ⑤洗濯・日干し	0件
	②栄養管理（調理等）	178件 ⑥その他	2件
	③庭の手入れ	59件 *計（重複あり）	594件
登録者数	④買い物	15件 *前年比82件減	
	①利用者 22人（うち、実利用者数20人、新規12人） ②支援者 03人（在宅福祉サポーター／ヘルパー）		
目標	定期的なモニタリングによる状態の把握 適切なサービスの提供 高齢者に限らず、子育て中の家庭や妊婦へのサービス提供の検討（対象範囲の拡大）		
目標達成度を計る指標	派遣件数・派遣内容 アセスメントとモニタリング	実 績／目標値	594件／580回
成果	初回訪問時のアセスメントや定期的なモニタリングにより状況把握や適切なサービス提供に努めました。		
課題	事業対象の拡大に伴い、在宅福祉サポーター／ヘルパーの確保を進める必要性があります。		

④ ミニ・デイサービス「ふれあい金曜会」の実施

内容	外出することの少ない高齢者がつどい、ふれあいのなかから相互の交流と仲間づくりを図ることに より、孤独感の解消と社会参加を促進するために、ミニ・デイサービスを実施しました。 おしゃべり、歌、散歩、レクリエーションゲーム等。 また、健康づくりの一環として、いきいき健康体操を毎回実施。アクセントイベントとしてあじさい見学や外食会を実施したほか、ゲスト等を招き、ともに楽しいひとときを過ごしました。		
期日	毎月第2・4金曜	*計24回	
会場	福祉会館他		
参加者数	延437人（ボランティアスタッフ含む）		
協力	ボランティアスタッフ、杉の子会、秀駒会（三味線）、マザーズベル（ハンドベル）		
目標	実施回数（24回／年） 実施内容（各種イベントの開催） 登録（参加）人数		
目標達成度を計る指標	参加者数	実 績／目標値	437人／430人

成果	外出することの少ない高齢者の外出の機会・おたのしみの場となっており、参加者とボランティアがともにプログラムを計画したり、ふれあいのなかから相互の交流と仲間づくりができました。*新規参加者4人
課題	・町内北部地区（岡野・金井島・上延沢）の方の送迎（町内巡回バスの活用）

⑤ レスパイト（障がい児者家族等の休息）サービスの実施

内容	養護学校等に通う児童・生徒の夏休み期間中に、障がいをお持ちの方を一時的に預かり、介護者の身体的・精神的な負担軽減と、当事者の情緒安定等を図ることを目的として、レスパイトサービスを実施しました。 水遊び、歌、レクリエーションゲーム、散歩、工作、おやつづくり等。 障がい児者支援ボランティア講座 ①7月14日（火） ②7月28日（金） *計2回 ①7月31日（金） ④8月12日（水） ②8月 3日（月） ⑤8月28日（金） ③8月10日（月） *計6回		
期日			
会場	福祉会館他		
参加者数	延10名（ボランティア講座） 延47人（ボランティアスタッフ含む）		
協力	開成町（福祉課）、民生委員児童委員協議会、吉田島総合高等学校、個人協力ボランティア		
目標	利用者（登録者）の拡大 受入体制の整備（ボランティア養成講座の開催・後継者育成）		
目標達成度を計る指標	利用者（登録者）数 アセスメントとモニタリング ボランティア養成講座の開催	実績／目標値	開催（6人）／養成講座開催 ボランティア確保
成果	障がい児者支援ボランティア講座を開催し、新たに6人のボランティアを確保できました。レスパイトサービスについては当事者団体と一部共催し、親子とボランティアの交流の場にもなりました。		
課題	多くのボランティアを確保するために引き続きボランティア講座を開催します。また、広域連携も視野に関係団体との調整をすすめます。		

⑥ コミュニティバスの運行

内容	高齢化の進展に伴い、「新たな公共交通を…」との要望が多方面から出されている中、町民の利便性の向上と外出の機会とコミュニティの場を提供することを目的として町（福祉課）から運行（試行）事業を受託実施しました。また、コミュニティバスの利用者の把握や運行時の利用状況を調査しました。		
期日	4月1日～翌年3月31日 *月～金曜日（祝祭日・12月29日～翌年1月3日は運休） ①平成27年 4月 1日～平成27年 4月30日≪1日2便（午前1便・午後1便）18拠点≫ ②平成27年 5月 1日～平成27年 6月12日≪1日2便（午前2便）18拠点≫ ③平成27年 6月15日～平成27年 9月11日≪1日4便（午前2便・午後2便）17拠点≫ ④平成27年 9月14日～平成28年 3月31日≪1日4便（午前2便・午後2便）16拠点≫		
その他	詳細「資料2」のとおり		
目標	広く住民の方に対して日常生活上の移動手段による利便とコミュニティの場として運行（1日4便、月から金曜日） 利用状況を調査と報告		
目標達成度を計る指標	運行日数・便数 乗車数	実績／目標値	運行・利用実績別添 ／4便/日・月～金運行
成果	当初の実 績／目標値（利用件数）延840件を大きく超える延2,516件の利用がありました。町民の利便性を図ることができました。		
課題	・買い物支援、外出支援目的とする社協の福祉サービスとして対応力 ・利用者要望の把握と今後の運行形態の協議（本格事業化含む町との協議） ・公共交通の補完、充実目的の社協としての役割		

10 介護保険事業の推進

① 居宅介護支援事業（ケアマネジメント）の実施（“介護予防”居宅介護支援事業を含む）

内容	介護保険法等関係法令に従い、利用者に対し可能な限り居宅においてその有する能力に応じて自立した日常生活を行うために必要な居宅サービスが利用できるよう「居宅サービス計画（ケア・プラン）」を、また地域包括支援センターからの委託を受け、要支援の方の「介護予防サービス計画」をそれぞれ作成するとともに、当該計画に基づいて適切な居宅サービスまたは介護予防サービスの提供が確保されるよう、サービス事業者等との連絡調整及びその他の便宜を図りました。		
期日	通年		
契約者数	①介護	83人 *計	93人
	②予防	10人 *前年比10人増	
利用者数	①介護	748人 *計	814人
	②予防	66人 *前年比57人増	
その他	詳細「資料3」のとおり		
目標	安定的な利用者確保（70件／月） 他機関、他事業所との連携強化		
目標達成度を計る指標	プラン立案件数 収支バランス	実 績／目標値	814件／840件
成果	プラン立案件数（平均）67件と実 績／目標値に届きませんでした。契約・利用者数ともに増加しています。また、必要に応じ、関係機関等との調整・連携を図ることができました。		
課題	引き続き職員の資質・専門性の向上と情報・課題意識の共有化を図るよう努めていく必要があります。		

② 通所介護事業（デイサービス）の実施（“介護予防”通所介護事業を含む）

内容	介護保険法等関係法令に従い、利用者に対し可能な限り居宅で自立した日常生活を営むために、「介護」給付対象または「介護予防」給付対象となる機能訓練やレクリエーション、給食、入浴等の通所介護事業を一体的に行いました。 「介護」給付対象：要介護1～5、「介護予防」給付対象：要支援1～2。 プログラムメニューとしては、午前はタオル体操や歌、ゲームのほか、あじさい見学等の季節に応じた行事を、午後はカレンダーづくり等さまざまな作品づくりをつうじて、手指の訓練を目的とした創作活動をそれぞれ実施しました。 毎月1回防災訓練を実施し、スタッフ利用者とともに安全に避難することができる体制づくりを実施しました。		
期日	毎週月～金曜（4、5月の国民の休日・敬老の日・12月29日～翌年1月4日を除く） *計 258回		
会場	デイサービスセンター（福祉会館1F）		
契約者数	①介護	32人 *計	34人
	②予防	2人 *前年比2人増	
利用者数	①介護	1,817人 *計	2,016人
	②予防	145人 *前年比328人減 *一日平均7.8人（同前年比1.9人減）	
その他	詳細「資料4」のとおり		
目標	可能な限り「利用者本位」を優先するサービス提供 定員充足率の維持（平均13人／日） CM事業所への報告・連携の強化		
目標達成度を計る指標	一日あたり平均利用者数	実 績／目標値	7.8人／14.0人
成果	営業日を拡充（祝日営業）して利用者増に努めた結果、利用者家族の介護負担軽減につながりました。また地域の居宅介護支援事業所への営業活動により、若干利用者の増につながりました。		
課題	・本会が通所介護事業を実施する目的の再認識（事業継続の判断） ・利用者確保（定員充足率の向上）に向けた取り組み（営業活動） ・事業所・利用者等への意向調査の実施、課題分析、改善		

③ 介護保険事業利用者等意向調査の実施

内容	本会が実施している介護保険事業（居宅介護支援事業・デイサービスセンター事業）のご利用者・ご家族の意向・要望等を把握し、今後のより質の高いサービス提供・運営体制に反映していくことを目的として、アンケート形式による調査を行いました。		
期日	平成27年4月1日（水）～平成27年4月22日（水）		
目標	利用者（家族）様及び関係機関の意識（満足度）調査		
目標達成度を計る指標	サービスに概ね満足している利用者の割合	実績／目標値	意向確認／満足度アップ 95.0%
成果	ご利用者様・ご家族様の利用における満足度を測るとともに、意向や要望等を把握することができました。その結果、通所介護事業では祝日の営業を開始いたしました。		
課題	・担当ケアマネージャー不在時の対応 ・制度改正やサービス内容の変化等の説明方法 ・多様なニーズ、要望への対応能力		

11 地域包括支援センター事業の推進

包括的支援事業の実施

内容	高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を送れるよう、介護・福祉・健康・医療などのさまざまな面からの支援を行い、多様化するニーズに対応していきます。各々の提供システムが分断されることなく包括的、継続的につながるしくみである「地域包括ケアシステム」構築に向け、町（保険者）と連携を図りながら取り組みました。
	詳細「資料5」のとおり

① 介護予防事業・二次予防事業の実施

内容	開成町が70歳と75歳を対象に実施した基本チェックリストの集計結果に基づき、心身機能の低下を防ぎ、いつまでも住み慣れた地域でできる限り自立した生活が送れるよう、健康状態や生活状況を確認し、必要なサービスや相談を行っていくことを目的に調査を実施しました。		
相談件数	①二次予防対象者186件 ②未回収者109件 ③二次予防支援計画数18件		
目標	開成町が必要と認めた二次予防対象者に対する必要なサービス提供や相談 心身機能の低下を防ぎ、いつまでも住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう、健康状態や生活状況の確認		
目標達成度を計る指標	訪問による状況把握と対応策にもとづく介護予防の実施	実績／目標値	昨年度比較 不足／充実
成果	前年度からの継続ケースを含め介護予防支援計画表の作成は18件でした。計画表立案までは及びませんが対象者把握、保険外サービスや二次予防事業の紹介、参加や利用促しをしました。		
課題	介護保険法改正に伴い、介護予防支援計画の立案数が大幅に伸びるものと予想されます。平成28年度の移行に合わせた対応策の検討が必要です。		

② 介護予防ケアマネジメント業務

内容	要介護状態になるおそれのある方の介護予防プログラムや軽度者（要支援1・2の認定を受けている方）の介護予防サービスのケアプランを作成しました。		
プラン立案数	①包括分	589件 ＊計	851件
	②他事業者分	262件 ＊前年比159件増	
相談件数	延8,447件	＊前年比352件増	
その他	①要支援認定者の介護保険利用者数		851件
	②サービス未利用要支援者へのアプローチ数		34件
	③認定結果の説明（訪問）数		
	＊町との調整結果により、③は25年8月末にて対応終了（町：保険者対応に変更）		
目標	対象者が要介護状態になることの予防と心身の状況に応じた介護予防事業を効率的に活用できるための介護予防プランの作成		
目標達成度を計る指標	介護予防プラン立案件数	実績／目標値	850件／675件
成果	体制が整わないままの対応でしたが、大幅な件数増となりました。		
課題	要支援のプラン立案は他事業者に委託することができます。地域包括支援センターの本来業務は介護保険を利用することなく自立した生活が送れるよう支援することと考えています。プラン立案に対応する介護支援専門員の雇用を計画しておりましたが、いまだかつておりません。体制構築が大きな課題と感じています。		

③ 相談窓口・支援事業

内容	相談窓口体制を強化し、介護保険に関するもののほか、高齢者の生活全般にわたる幅広い相談を受け付け、専門的・継続的な観点から必要なサービスや機関へつなぐ支援を行いました。		
相談件数	延2,524件	＊前年比285件増	

目標	介護保険に関するもののほか、高齢者の生活全般にわたる幅広い相談を受け付け、専門的・継続的な観点から必要なサービスや機関へつなぐ支援を行うための相談窓口体制の強化		
目標達成度を計る指標	相談窓口体制の整備・強化	実績／目標値	充実／充実
成果	相談件数は年々増加する中、他機関との連携を図りながら問題解決に向け対応しています。		
課題	職員体制が整わないため平成25年度から実施してきた窓口当番を設置できない状況		

④ 権利擁護業務

内容	高齢者が安心して暮らせるよう、関係機関と連携を図り、権利擁護相談や高齢者虐待防止に取り組みました。		
相談件数	延109件（うち、虐待関係36件）		*前年比68件減
目標	高齢者が安心して暮らせるよう、関係機関と連携を図り、権利擁護相談や高齢者虐待防止の取り組み		
目標達成度を計る指標	連携強化と地域包括ケアシステムの構築へ向けた検討	実 績／目標値	充実／充実
成果	他機関と連携しながら早期発見・解決に向け取り組みました。		
課題	早期に他機関との話し合い場面の設定が必須と考えています。ケースに対応しながら、地域包括ケアシステムの構築に向け取り組んでいく必要性があります。		

⑤ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

内容	医療機関との連携や介護支援専門員への後方支援、ネットワークづくりに取り組みました。		
相談件数	延521件	＊他事業者からの相談件数	＊前年比25件増
目標	医療機関との連携や介護支援専門員への後方支援、ネットワークづくりへの取り組み		
目標達成度を計る指標	居宅介護支援事業者連絡会の開催	実績／目標値	4回／4回
成果	体制が整わず、平成25年度の途中から実施してきた窓口当番も設けられないままでしたが、相談件数は増となりました。連絡会の参加者も増加しました。うち1回は一般や民生委員にも参加を促し連携のきっかけづくりを図りました。		
課題	体制を確立し、窓口当番の再開を検討していく必要性があります。		

⑥ 任意事業の実施

内容	介護者の健康維持・増進と介護負担の軽減、適切な介護知識・技術の習得、地域住民への啓発に、開成町や民生委員児童委員協議会、自治会福祉部等と協力して取り組みました。		
①認知症サポーター養成事業への協力			
期日	① 6月22日（日）	③ 1月19日（火）	
	②11月 8日（日）	*計3回	
会場	①河原町公会堂 ②上延沢自治会館 ③吉田島総合高校		
協力	②は町とともに実施（徘徊高齢者搜索模擬訓練に備えて実施。訓練は雨天のため中止）		
参加者数	延65人		
②介護家族教室・介護者のつどいの開催			
期日	①12月 7日（月）		
	②12月10日（木）	*計2回	
会場	福祉会館		
協力	町と共催		

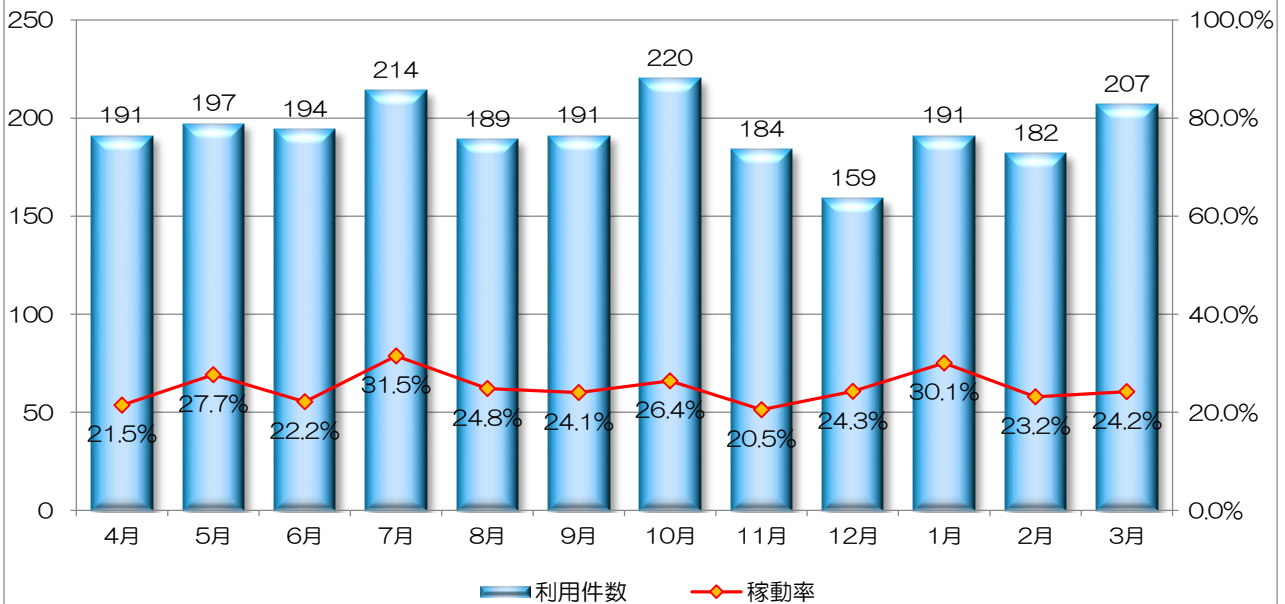
参加者数	延29人		
目標	認知症施策の推進、介護者の健康維持・増進と介護負担の軽減、適切な介護知識・技術の習得、地域住民への啓発するための開成町や民生委員児童委員協議会、自治会福祉部等との協力		
目標達成度を計る指標	認知症サポーター養成事業への協力 介護家族教室・介護者のつどいの開催	実績／目標値	3回／3回 2回／4回
成果	介護家族教室・介護者のつどいは2回の開催となりましたが、町が認知症サポーター養成講座の過去の受講者向けに開催したステップアップ講座にも協力しました（全2回）。加えて、認知症ケアパス作成に向けた検討をこの講座参加者とともに担わせていただきました。		
課題	今年度は「認知症地域支援推進員」を配置しました。このことの周知を図りながら、広く認知症の相談に応じられる体制づくりが必要です。		

⑦ その他

内容	①地域ケアねっとわーく会議、②町（保険健康課）との連絡調整会議、③部門間ミーティングを毎月各1回開催		
期日	毎月1回開催	*計 36回	
会場	福祉会館		
成果	関係機関と連携、課題抽出、課題解決に向けて開催しました。検討内容をもとに地域包括ケアシステム構築に向けた視点を持つよう努めました。		
課題	多職種連携による検討会の意味合いを再確認していく必要があります。次年度以降社会福祉協議会に設置する「生活支援コーディネーター」との連携を強化し、地域包括ケアシステム構築に取り組みます。		

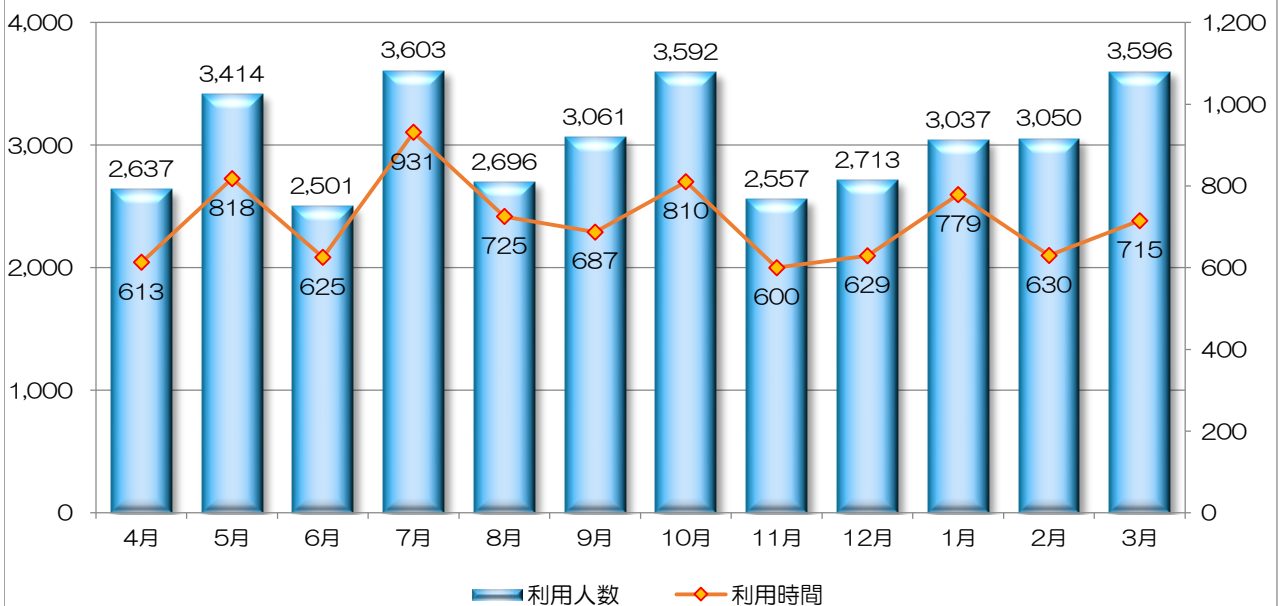
開成町福祉会館 利用状況報告

利用件数・稼働率



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用件数	191	197	194	214	189	191	220	184	159	191	182	207	2,319
稼働率	21.5%	27.7%	22.2%	31.5%	24.8%	24.1%	26.4%	20.5%	24.3%	30.1%	23.2%	24.2%	25.0%

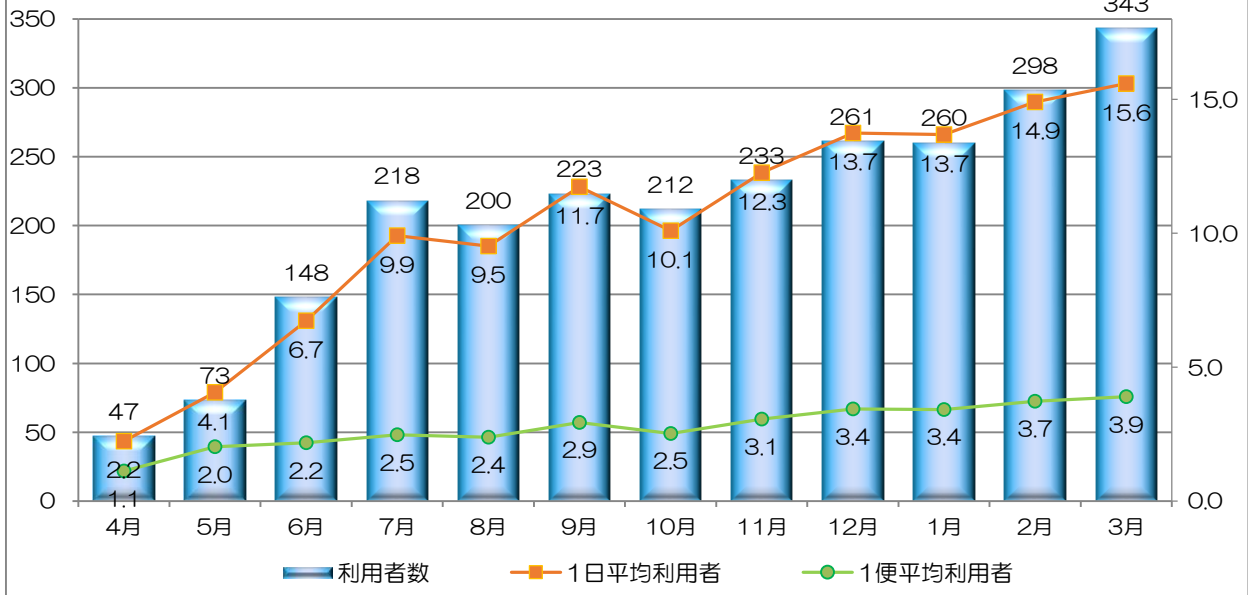
利用人数・稼働率



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用人数	2,637	3,414	2,501	3,603	2,696	3,061	3,592	2,557	2,713	3,037	3,050	3,596	36,457
利用時間	613	818	625	931	725	687	810	600	629	779	630	715	8,562

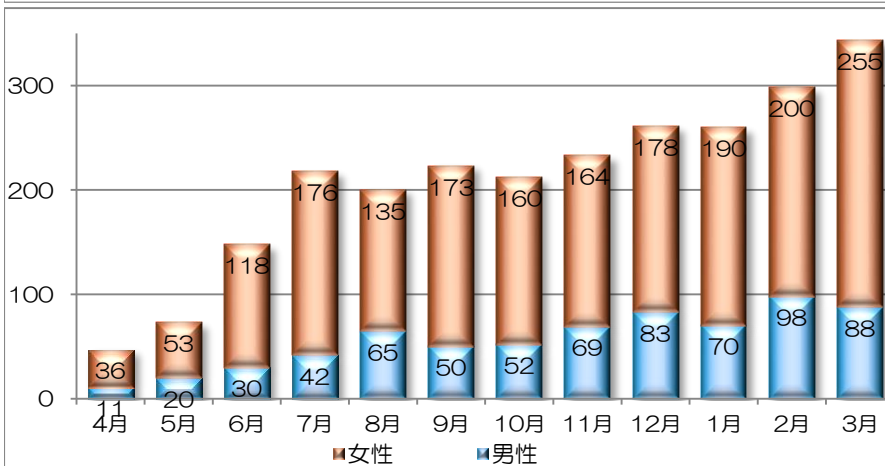
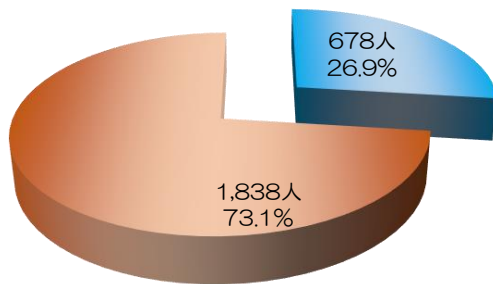
開成町内巡回バス運行／利用者状況

利用者数・平均利用

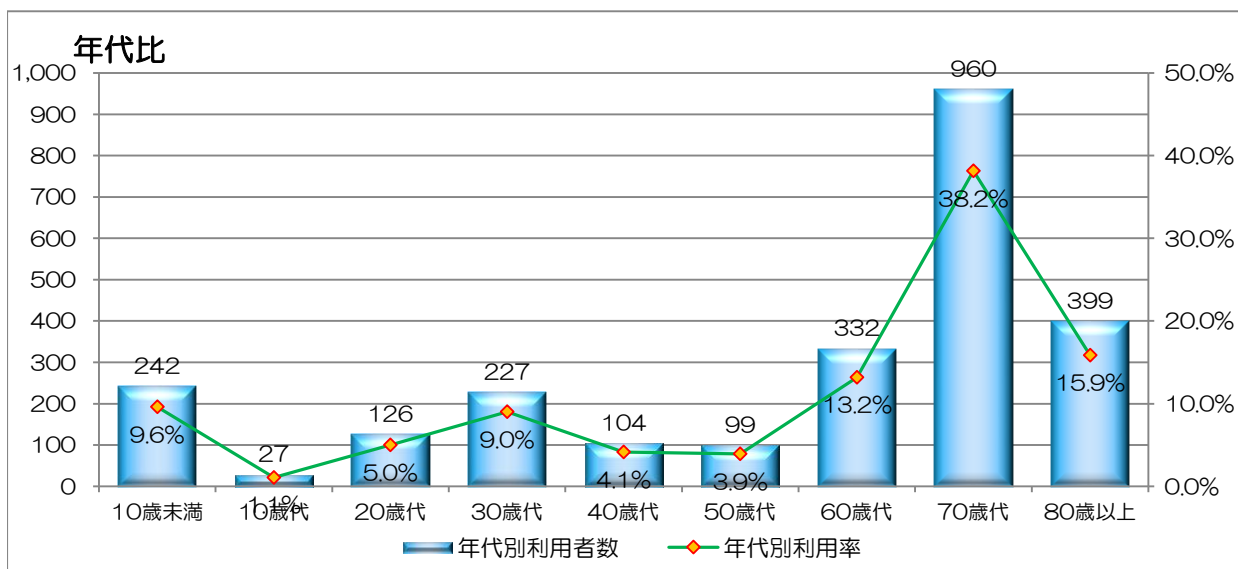


利用者数・平均利用	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
運行日数	21	18	22	22	21	19	21	19	19	19	20	22	243
運行便数	42	36	68	88	84	76	84	76	76	76	80	88	874
利用者数	47	73	148	218	200	223	212	233	261	260	298	343	2,516
1日平均利用者	2.2	4.1	6.7	9.9	9.5	11.7	10.1	12.3	13.7	13.7	14.9	15.6	10.4
1便平均利用者	1.1	2.0	2.2	2.5	2.4	2.9	2.5	3.1	3.4	3.4	3.7	3.9	2.9

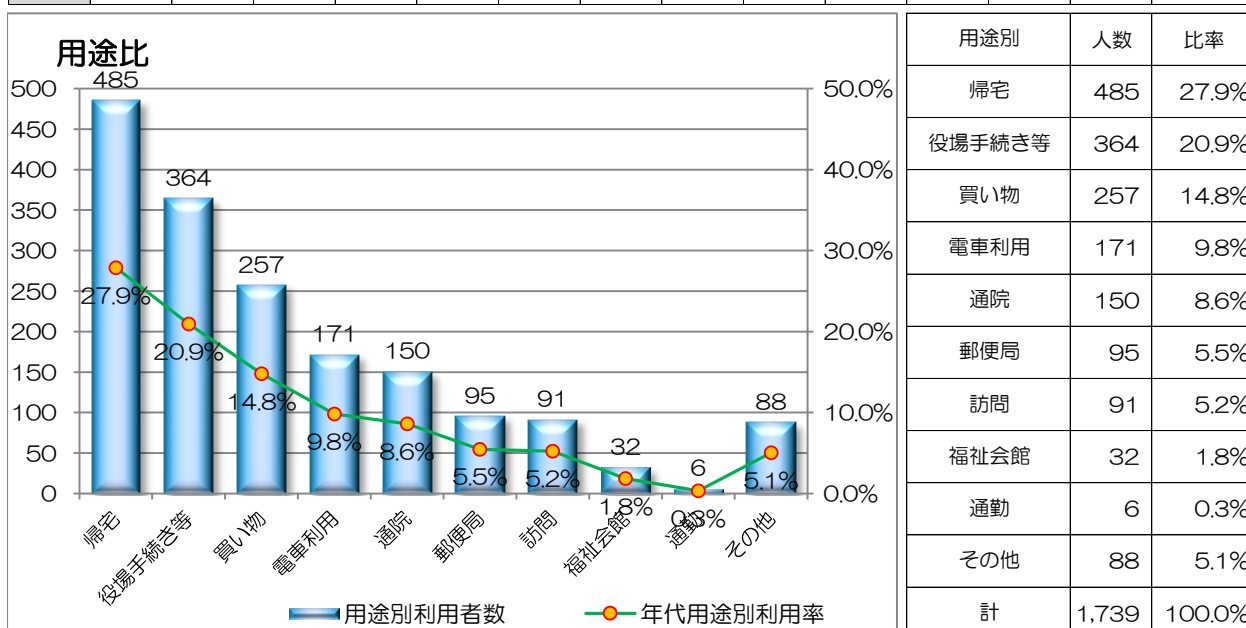
性別比



	男性	女性	計
4月	11	36	47
5月	20	53	73
6月	30	118	148
7月	42	176	218
8月	65	135	200
9月	50	173	223
10月	52	160	212
11月	69	164	233
12月	83	178	261
1月	70	190	260
2月	98	200	298
3月	88	255	343
計	678	1,838	2,516
比率	26.9%	73.1%	100.0%

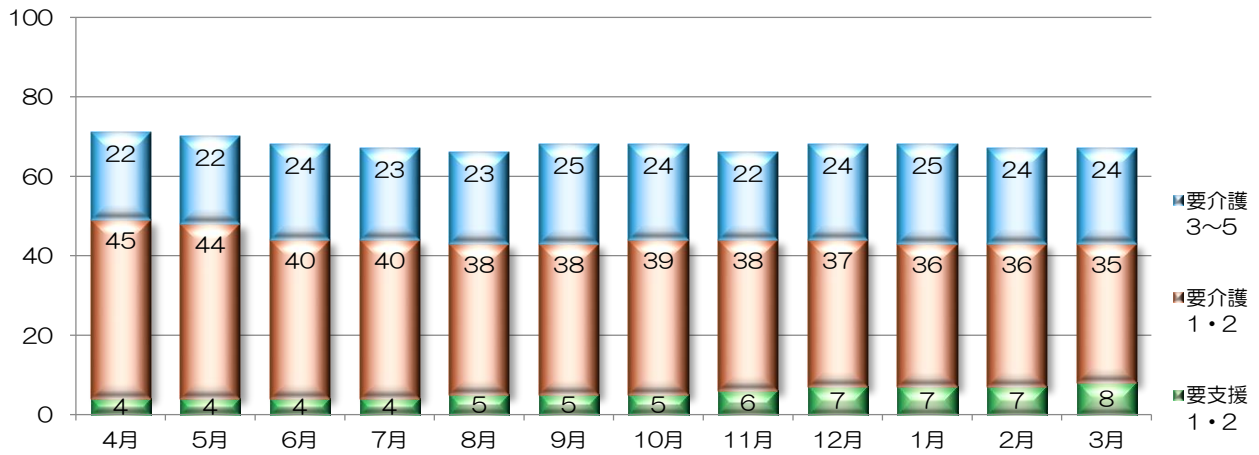


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	比率
10歳未満	5	2	10	14	18	22	21	29	24	31	29	37	242	9.6%
10歳代	0	0	2	2	13	5	0	1	0	1	0	3	27	1.1%
20歳代	4	1	3	10	16	10	10	10	12	24	15	11	126	5.0%
30歳代	0	1	15	27	15	17	20	18	24	24	36	30	227	9.0%
40歳代	2	1	5	18	17	8	5	1	7	13	6	21	104	4.1%
50歳代	5	0	6	12	4	12	4	11	10	12	12	11	99	3.9%
60歳代	1	10	24	25	26	35	29	46	35	23	38	40	332	13.2%
70歳代	22	41	66	74	72	80	72	84	114	81	113	141	960	38.2%
80歳以上	8	17	17	36	19	34	51	33	35	51	49	49	399	15.9%
計	47	73	148	218	200	223	212	233	261	260	298	343	2,516	100.0%



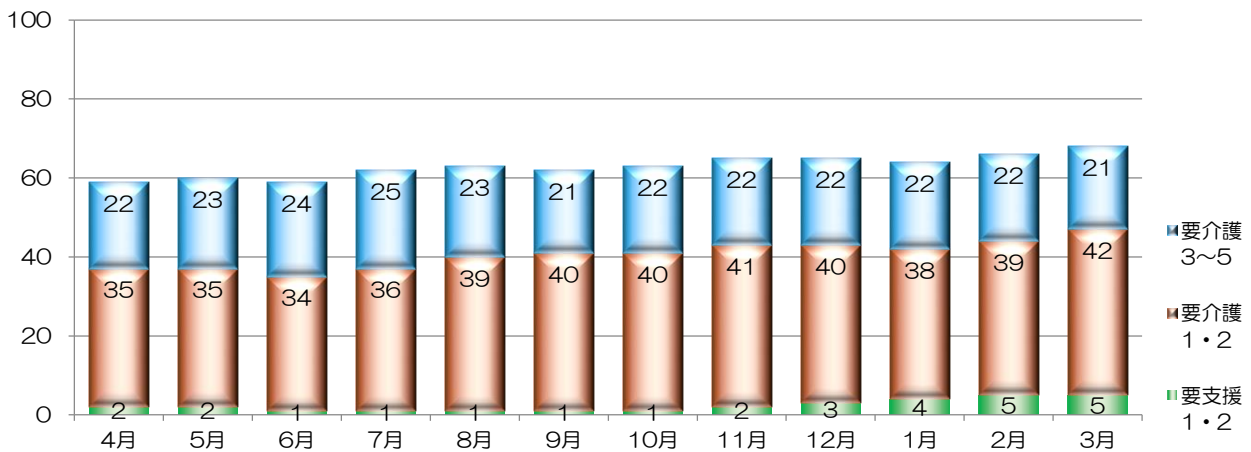
居宅介護支援事業

平成27年度 プラン立案数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援 1・2	4	4	4	4	5	5	5	6	7	7	7	8	66
要介護 1・2	45	44	40	40	38	38	39	38	37	36	36	35	466
要介護 3～5	22	22	24	23	23	25	24	22	24	25	24	24	282
計	71	70	68	67	66	68	68	66	68	68	67	67	814
初回加算	4	3	2	1	1	1	2	0	1	1	1	1	18
入院時 連携Ⅰ	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
入院時 連携Ⅱ	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
退院・退所	0	0	0	2	0	1	0	0	1	1	0	1	6

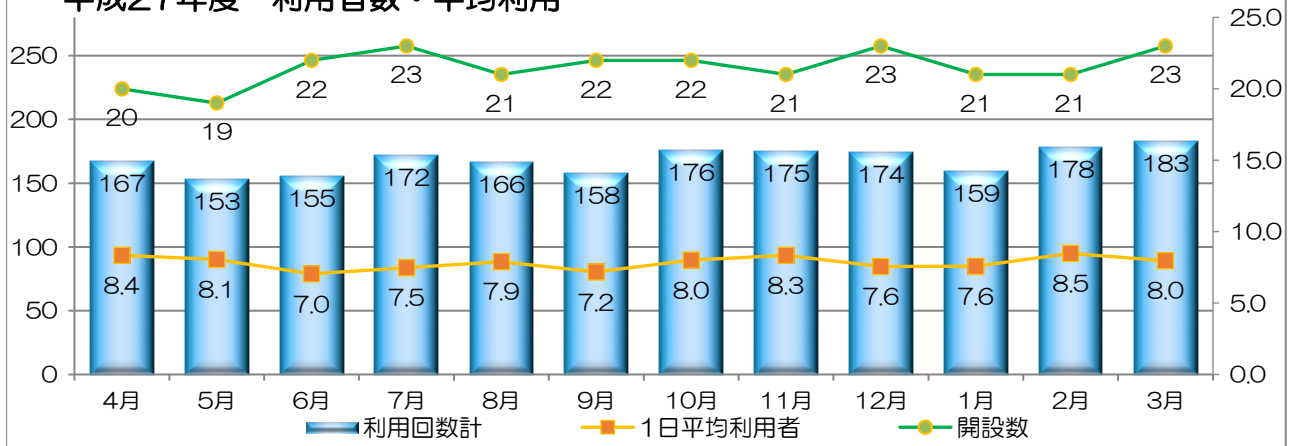
平成26年度 プラン立案数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援 1・2	2	2	1	1	1	1	1	2	3	4	5	5	28
要介護 1・2	35	35	34	36	39	40	40	41	40	38	39	42	459
要介護 3～5	22	23	24	25	23	21	22	22	22	22	22	21	269
計	59	60	59	62	63	62	63	65	65	64	66	68	756
初回加算	3	4	1	4	4	1	4	1	1	1	2	3	29
入院時 連携Ⅰ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2
入院時 連携Ⅱ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	3
退院・退所	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	2	5
認知症	11	11	10	11	11	10	10	10	10	9	9	8	120
独居	5	4	4	3	3	4	4	4	4	4	4	4	47

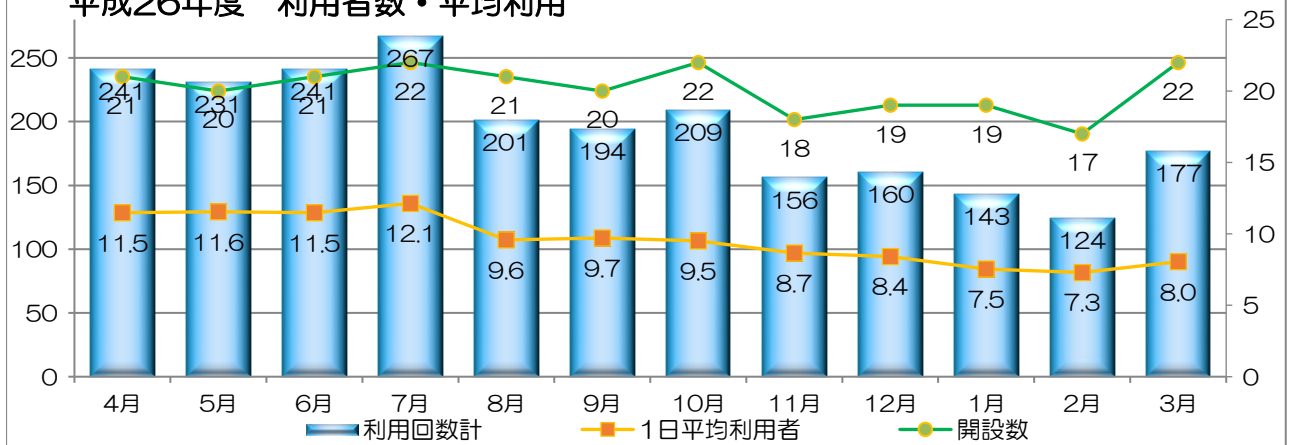
通所介護事業

平成27年度 利用者数・平均利用



		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護 予防 通所	要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要支援2	8	8	9	14	12	13	14	12	12	17	12	14	145
通所 介護	要介護1	100	91	99	112	112	106	115	117	107	94	99	96	1,248
	要介護2	16	15	13	14	13	12	17	17	28	26	28	30	229
	要介護3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	23	27	61
	要介護4	36	32	29	32	29	27	30	29	27	11	16	16	314
	要介護5	7	7	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19
利用回数計		167	153	155	172	166	158	176	175	174	159	178	183	2,016
開設数		20	19	22	23	21	22	22	21	23	21	21	23	258
1日平均利用者		8.4	8.1	7.0	7.5	7.9	7.2	8.0	8.3	7.6	7.6	8.5	8.0	7.8

平成26年度 利用者数・平均利用



		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護 予防 通所	要支援1	2	5	4	5	4	3	5	4	4	0	0	0	36
	要支援2	25	16	15	20	12	8	9	8	7	7	6	9	142
通所 介護	要介護1	63	66	74	91	98	99	106	86	98	84	77	83	1,025
	要介護2	46	42	41	42	19	17	17	12	10	15	11	37	309
	要介護3	64	63	63	68	39	40	43	33	11	6	0	0	430
	要介護4	41	39	37	33	20	18	20	6	24	23	23	39	323
	要介護5	0	0	7	8	9	9	9	7	6	8	7	9	79
利用回数計		241	231	241	267	201	194	209	156	160	143	124	177	2,344
開設数		21	20	21	22	21	20	22	18	19	19	17	22	242
1日平均利用者		11.5	11.6	11.5	12.1	9.6	9.7	9.5	8.7	8.4	7.5	7.3	8.0	9.7

**平成27年度 開成町地域包括支援センター
事業報告書**

はじめに

平成24年度(第5期)より受託し4年目を迎えた第6期初年度である平成27年度の事業について、次のとおり報告いたします。

I 介護予防事業 二次予防事業

二次予防対象者把握事業

開成町が70歳と75歳を対象に実施した基本チェックリストの集計結果に基づき、心身機能の低下を防ぎ、いつまでも住み慣れた地域でできる限り自立した生活が送れるよう、健康状態や生活状況を確認し、必要なサービスや相談を行っていくことを目的に調査を実施しました。

●対象者 186件

二次(継続)	120件
改善	39件
不明・不在	16件
入院	0件
介護保険申請	10件
転出	0件
逝去	1件

●未回収 109件

二次予防対象者	5件
非該当	58件
拒否	16件
不在・不明	27件
介護保険申請	2件
入院	0件
転出	1件
逝去	0件

II 包括的支援事業

① 介護予防マネジメント事業

二次予防の対象者が要介護状態になることを予防するため、心身の状況に応じて対象者自らの選択に基づき、介護予防事業を効果的に活用できるよう介護予防プランを作成しました。今後も必要な方に対して、適切に介護予防プランを作成し、継続的に支援いたします。

●二次予防支援計画数 18件

また、要介護状態になるおそれのある方の介護予防プログラムや軽度者(要支援1・2の認定を受けている方)の介護予防サービスのケアプランを作成しました。

●作成数 851件 《平成26年度 692件/前年度比 159件増》

〔内訳〕 包括担当 589件

他事業所委託 262件

定期的に月単位のサービス利用をされていない方の住宅改修・福祉用具購入の支援をしました。

●対応数 4件

② 総合相談・支援事業

介護保険に関するもののほか、高齢者の生活全般にわたる幅広い相談を受け付け、窓口体制を強化し、専門的・継続的な観点から必要なサービスや機関へつなぐ支援を行いました。

専用電話回線の設置及び転送電話による24時間体制を整備しました。

③ 権利擁護事業

地域の高齢者が安心して暮らせるよう、関係機関と連携を図り、権利擁護相談や高齢者虐待防止に取り組みました。

- 内 容
 - 日常生活自立支援事業、成年後見制度の普及
 - 虐待防止、早期発見
 - 関係者とのネットワーク強化、必要な方への支援及び一般住民向け啓発活動
- 対応ケース 延べ109件（疑いのケース含む）

④ 包括的・継続的ケアマネジメント事業

医療機関との連携や地域における介護支援専門員への後方支援やネットワークづくりをしました。

- 内 容
 - 個別相談対応
 - 他事業所からの相談件数 521件
 - 町居宅介護支援事業者連絡会 全4回（下表のとおり）

	日程	内容	参加者数
第1回	8月26日（水）	社協の介護保険外サービスについて	16人
第2回	11月24日（火）	消費者被害の防止と権利擁護事業	21人
第3回	1月26日（火）	成年後見制度の地域意見交換会 お口の健康出前講座 配食サービス試食会	37人
第4回	2月26日（金）	介護予防・日常生活支援総合事業について	28人

○地域ケア会議（地域ケアねっとわーく会議）全12回

定期開催による個別事例検討と地域課題の把握分析など、多職種協働による地域のネットワークの構築と地域包括支援センター業務を円滑に展開するために、情報の共有化、機能強化を図りました。平成28年度から社会福祉協議会に配置される生活支援コーディネーターの参加が2月から整いました。

Ⅲ 任意事業

① 家族介護支援事業

おおむね65歳以上の介護を必要とされている方、または要介護状態になるおそれのある高齢者家族を対象に、介護知識や技術を習得していただく機会を提供するとともに、当事者の会発足を促しました。

- 内 容
 - 「家族介護教室」（介護知識や技術の習得を目的とした研修会）・「介護者のつどい」（介護者相互の懇談会）の開催

※開成町と共催

12月 7日（月）／参加者21人

10日（木）／参加者 8人

② 認知症の方を抱える家族への支援

県の研修を受講した職員を「認知症地域支援推進員」に配置し、認知症の予防や早期発見、地域での支えあいを推進するための開成町の取り組みに積極的に協力しました。

- 内 容
 - 認知症サポーター養成事業への協力（下表のとおり）

日程	対象者	人数
6月22日（日）	河原町きらく会会員	11人
11月 8日（日）	上延沢自治会 ※徘徊高齢者搜索模擬訓練に備えて実施	38人
1月19日（火）	吉田島総合高校 社会福祉選択生徒	16人
合 計		65人

○町の認知症施策の推進への協力

認知症サポーターステップアップ講座

11月10日(火) 参加者/39人

16日(月) 参加者/14人

認知症ケアパス作成に向けた打合せ

12月14日(月) 参加者/ 7人

3月 8日(火) 参加者/ 7人

③ 施設情報誌の更新・発行

平成26年度に社会福祉協議会が隔年で開催している「地区別ふくし座談会」でいただいた意見をもとに発行した「施設情報」を更新し発行、希望者に配布しました。

Ⅳ 総括

地域包括支援センター業務を円滑に実施するために、町(保険者)との情報の共有化を図り、機能強化を図りました。

- 内 容
 - ・地域ケアねっとわーく会議
(小田原保健福祉事務所足柄上センター・町福祉課・町保険健康課・リハビリテーション専門職・生活支援コーディネーター 出席)
 - ・町との連絡調整会議
(町=保険者、リハビリテーション専門職・生活支援コーディネーター 出席)
 - ・部門ミーティング
 - ・朝の打合せ(申し送り)

また、地域の職種ごとの連絡会に参加し、情報交換と資質向上を図りました。

- 内 容
 - ・足柄上地区地域包括支援センター連絡会
 - ・合同部会/年2回(5月・3月)
 - ・保健師部会/年2回(6月・2月)
 - ・社会福祉士部会/年2回(9月・3月)
 - ・主任ケアマネージャー部会/年2回(7月・3月)
 - ・あしがらケアマネージャー連絡会※幹事町(～平成28年度)
 - ・神奈川県介護支援専門員研究大会(1月)

資質向上のため、次の研修等に参加しました。

- ・介護支援専門員 専門研究課程Ⅱ(更新研修)(6～7月・2～3月)
- ・チームケア教育「認知症のBPSDへの理解とチームケア」(7月)
- ・安心づくり安全探しアプローチ(AAA)研修(9月)
- ・地域包括連携会議(10月・1月)
- ・地域包括支援センター職員等養成研修(現任者)(10月)
- ・県社会福祉協議会 第2種・第3種正会員連絡会 公開研修会(2月)
- ・県西部地区地域包括ケア会議・県西部地区在宅医療推進協議会(3月)
- ・認知症地域支援推進員 情報交換会(3月)
- ・若年性認知症シンポジウム(3月)
- ・地域包括支援センター職員等養成研修(8月)
- ・地域包括ケア会議運営に係る実務者研修(11月)

平成27年度 介護予防支援事業 給付管理一覧表

	国保連 請求総額	地域包括 支援センター 純利益	内訳				他事業所 扱い分 合計	内訳			他事業所純利益																										
			プラン立案数		初回 小規模 多機能 連携加 算	他事業所 担当分 差額		プラン立案数		初回 小規模 多機能 連携加 算	ニコニコ介護 サービス		北小田原病院		居宅介護支援 エリア		開成町社協		高齢者支援セ ンターはなの 詩		ケアプランな かむら		在宅福祉ケア 子育てサポート すすろ		居宅介護支援 芳徳の郷ほな み		富士ライフデ ザイン		すいふよう		おうち DE 介護		草の家				
			要 支 援 1	要 支 援 2				要 支 援 1	要 支 援 2																												
4月	276,900	200,670	15	31	1	4,170	76,230	6	12	1	4,085	1	0	0	16,340	4	16,340	4	12,255	3	0	0	12,255	3	4,085	1	0	0	10,870	2	0	0	0	0			
5月	295,800	212,785	16	31	2	4,685	83,015	7	12	2	4,085	1	0	0	23,125	5	16,340	4	19,040	4	0	0	8,170	2	4,085	1	0	0	8,170	2	0	0	0	0			
6月	295,800	208,700	15	31	2	4,900	87,100	8	12	2	4,085	1	6,785	1	16,340	4	16,340	4	16,340	4	0	0	14,955	3	4,085	1	0	0	8,170	2	0	0	0	0			
7月	307,400	216,215	14	33	3	5,115	91,185	7	14	1	10,870	2	4,085	1	12,255	3	19,040	4	16,340	4	4,085	1	12,255	3	4,085	1	0	0	8,170	2	0	0	0	0			
8月	327,600	221,460	11	37	3	5,545	106,140	9	15	3	8,170	2	4,085	1	12,255	3	23,125	5	23,125	5	4,085	1	12,255	3	4,085	1	0	0	14,955	3	0	0	0	0			
9月	308,300	218,430	15	34	1	4,515	89,870	8	14	0	8,170	2	4,085	1	8,170	2	20,425	5	20,425	5	4,085	1	8,170	2	4,085	1	0	0	8,170	2	4,085	1	0	0			
10月	315,600	221,645	13	36	2	5,245	93,955	7	16	0	8,170	2	4,085	1	12,255	3	20,425	5	16,340	4	4,085	1	8,170	2	4,085	1	4,085	1	8,170	2	4,085	1	0	0			
11月	315,600	220,330	13	37	0	5,330	95,270	4	18	2	8,170	2	0	0	0	0	27,210	6	23,125	5	8,170	2	8,170	2	4,085	1	4,085	1	8,170	2	4,085	1	0	0			
12月	299,700	221,645	15	33	0	5,245	92,570	4	18	1	8,170	2	0	0	0	0	31,295	7	23,125	5	8,170	2	8,170	2	4,085	1	4,085	1	8,170	2	4,085	1	0	0			
1月	321,815	231,945	16	34	4	4,730	89,870	4	18	0	8,170	2	0	0	0	0	28,595	7	20,425	5	8,170	2	8,170	2	4,085	1	4,085	1	8,170	2	4,085	1	0	0			
2月	344,800	242,745	18	35	3	5,845	102,055	5	18	3	8,170	2	0	0	13,570	2	31,295	7	20,425	5	8,170	2	8,170	2	4,085	1	4,085	1	8,170	2	4,085	1	0	0			
3月	376,600	262,290	17	39	5	6,490	117,525	5	21	2	8,170	2	0	0	8,170	2	35,380	8	16,340	4	8,170	2	4,085	1	4,085	1	10,870	2	8,170	2	4,085	1	6,785	1			
合計	3,785,915	2,678,860	178	411	26	61,815	1,124,785	74	188	17	88,485	21	23,125	5	122,480	28	285,810	66	227,305	53	57,190	14	112,995	27	49,020	12	31,295	7	107,525	25	28,595	7	6,785	1			

平成26年度地域包括支援センター総収入／2,336,457円（前年度比／342,403円増）

平成27年度 開成町地域包括支援センター業務報告書

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
Ⅰ／包括的支援事業														
1.介護予防ケアマネジメント業務														
地域包括支援センター プラン立案数（利用のあった件数）		46	47	46	47	48	49	49	50	47	48	53	56	589
内訳	要支援1	15	16	15	14	11	15	13	13	15	16	18	17	178
	要支援2	31	31	31	33	37	34	36	37	33	34	35	39	411
	※初回加算・小規模多機能連携加算	1	2	2	3	3	1	2	0	0	4	3	5	26
	認定結果未のため次月請求の件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他事業者 プラン立案数（利用のあった件数）		18	19	20	21	24	22	23	22	22	22	23	25	261
内訳	要支援1	6	7	8	7	9	8	7	4	4	4	5	5	74
	要支援2	12	12	12	14	15	14	16	18	18	18	18	21	188
	※初回加算	1	2	2	1	3	0	0	2	1	0	3	0	15
要支援認定者の介護保険利用者数		64	66	66	68	72	71	72	72	70	71	75	81	848
相談件数		666	573	691	919	748	700	813	671	678	737	649	602	8,447
内訳	サービス担当者会議	13	17	17	26	17	12	18	18	9	25	20	13	205
	サービス調整	336	282	322	447	364	337	418	325	342	371	293	278	4,115
	モニタリング	317	274	352	446	367	351	377	328	327	341	336	311	4,127
サービス未利用の要支援者へのフォロー件数		2	1	2	4	5	0	3	0	1	7	4	5	34
2.総合相談・支援事業														
相談件数		207	174	242	268	216	230	250	199	201	188	207	142	2,524
3.権利擁護業務														
相談件数		5	18	19	24	1	1	16	4	5	14	1	1	109
内訳	高齢者虐待の防止および対応	4	6	5	7	0	1	3	2	0	6	1	1	36
	消費者被害の防止および対応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他（判断能力を欠く常況にある方への対応等）	1	12	14	17	1	0	13	2	5	8	0	0	73
4.包括的・継続的ケアマネジメント支援事業														
他事業所からの相談件数（個々の介護支援専門員への依頼等）		31	23	31	52	44	48	68	39	27	46	64	48	521
Ⅱ／二次予防対象者把握事業														
相談件数		47	37	33	40	35	13	23	26	18	54	121	163	610
把握方法	①一般相談による把握	47	37	33	40	35	13	23	26	18	21	14	11	318
	②訪問・基本チェックリストによる把握	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33	107	152	292

◎①地域ケアネットワーク会議（小田原保健福祉事務所足柄上センター・町・社協関係者・小専門職等が出席）・②町との連絡調整会議（町・社協）・③部門ミーティング（社協内）を月1回開催

貸借対照表

平成28年03月31日現在

法 人： 社会福祉法人 開成町社会福祉協議会

事 業： 法人全体

勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
＜資産の部＞				＜負債の部＞			
流動資産	14,358,402	9,324,998	5,033,404	流動負債	11,808,515	8,374,875	3,433,640
現金預金	9,436,282	5,270,391	4,165,891	短期運営資金借入金	0	0	0
現金	0	0	0	事業未払金	9,586,415	5,352,119	4,234,296
小口現金	45,000	45,000	0	その他の未払金	0	0	0
預貯金	9,391,282	5,225,391	4,165,891	1年以内返済予定設備資金借入金	0	0	0
普通預金(一般)さが信開0062292	161,587	217,287	△55,700	1年以内返済予定長期運営資金借入金	0	0	0
普通預金(会費)さが信開0115870	0	0	0	1年以内返済予定リース債務	0	0	0
普通預金(会費)JAあし開2625288	0	0	0	1年以内支払予定長期未払金	0	0	0
普通預金(基金)さが信開0097217	224,521	326,945	△102,424	未払費用	0	0	0
普通預金(退職)さが信開0123094	0	0	0	未返還金	0	0	0
普通預金(小口)さが信開0122470	27,000	25,000	2,000	預り金（未使用）	0	0	0
普通預金(会館)さが信開0114178	386,626	383,275	3,351	預り金	2,142,133	1,197,502	944,631
普通預金(通所)さが信開0139530	334,907	60,895	274,012	源泉所得税預り金	0	0	0
普通預金(ﾌｰﾑ)さが信開0364035	0	0	0	住民税預り金	0	0	0
普通預金(会館)さが信開0389528	1,591,314	775,991	815,323	社会保険料預り金	466,305	490,761	△24,456
普通預金(居宅)さが信開0389641	172,561	1,286,074	△1,113,513	福利協会預り金	0	0	0
普通預金(包括)さが信開0428005	6,492,766	2,149,924	4,342,842	共済会費預り金	0	0	0
普通預金(基金)さが信開0349990	0	0	0	一般会費(世帯)預り金	0	0	0
普通預金(通所)さが信開0372400	0	0	0	一般会費(団体)預り金	0	0	0
普通預金(退職)さが信開0385710	0	0	0	賛助会費預り金	0	0	0
事業未収金	0	0	0	福祉会館利用料（次年度）預り金	1,500,294	706,741	793,553
未収金	626,817	974,627	△347,810	その他の預り金	175,534	0	175,534
未収補助金	0	0	0	前受金	0	0	0
未収収益	0	0	0	前受収益	0	0	0
貯蔵品	770	850	△80	仮受金	0	0	0
立替金	3,462,676	533,486	2,929,190	賞与引当金	0	0	0
前払金	0	0	0	その他の流動負債	79,967	1,825,254	△1,745,287
前払費用	758,520	758,520	0	固定負債	12,726,300	13,075,800	△349,500
1年以内回収予定長期貸付金	0	0	0	設備資金借入金	0	0	0
短期貸付金	0	0	0	長期運営資金借入金	0	0	0
仮払金	0	0	0	リース債務	0	0	0
その他の流動資産	73,337	1,787,124	△1,713,787	退職給付引当金	12,726,300	13,075,800	△349,500
徴収不能引当金	0	0	0	長期未払金	0	0	0
固定資産	157,107,781	164,616,948	△7,509,167	長期預り金	0	0	0
基本財産	1,000,000	1,000,000	0	長期預り金	0	0	0
定期預金	1,000,000	1,000,000	0	長期預り金	0	0	0
定期預金(一般)さが信開0794311	1,000,000	1,000,000	0	保証金	0	0	0
投資有価証券	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
その他の固定資産	156,107,781	163,616,948	△7,509,167	負債の部合計	24,534,815	21,450,675	3,084,140
機械及び装置	0	0	0	＜純資産の部＞			

貸借対照表

平成28年03月31日現在

法 人： 社会福祉法人 開成町社会福祉協議会

事 業： 法人全体

勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
車輛運搬具	2,846,669	3,456,670	△610,001	基本金	1,000,000	1,000,000	0
器具及び備品	11,131	83,024	△71,893	基本金	1,000,000	1,000,000	0
有形リース資産	0	0	0	第1号基本金	1,000,000	1,000,000	0
権利	72,800	72,800	0	基金	78,360,945	78,409,000	△48,055
ソフトウェア	0	0	0	福祉基金	78,360,945	78,409,000	△48,055
無形リース資産	0	0	0	国庫補助金等特別積立金	1,427,000	1,789,000	△362,000
投資有価証券	120,000,000	120,000,000	0	その他の積立金	62,086,936	68,519,654	△6,432,718
投資有価証券(横浜市債)	30,000,000	30,000,000	0	退職共済積立金	62,086,936	56,988,654	5,098,282
投資有価証券(川崎市債)	40,000,000	40,000,000	0	通所介護事業積立金	0	11,531,000	△11,531,000
投資有価証券(ハマ債5)退職積立	50,000,000	50,000,000	0	福祉会館管理積立金	0	0	0
長期貸付金	3,000	0	3,000	次期繰越活動増減差額	4,056,487	2,773,617	1,282,870
退職手当積立基金預け金	0	0	0	(うち当期活動増減差額)	△6,399,848	0	△6,399,848
退職給付引当資産	12,726,300	13,075,800	△349,500	純資産の部合計	146,931,368	152,491,271	△5,559,903
長期預り金積立資産	0	0	0				
福祉基金積立資産	8,360,945	8,409,000	△48,055				
福祉基金積立資産 No.0349990	8,360,945	8,409,000	△48,055				
退職共済積立資産	12,086,936	6,988,654	5,098,282				
普通預金(退職)さが信開0385710	12,086,936	6,988,654	5,098,282				
通所介護事業積立資産	0	11,531,000	△11,531,000				
普通預金(通所)さが信開0372400	0	11,531,000	△11,531,000				
福祉会館管理積立資産	0	0	0				
普通預金(会館)さが信開0417404	0	0	0				
差入保証金	0	0	0				
長期前払費用	0	0	0				
その他の固定資産	0	0	0				
リサイクル料預け金	0	0	0				
徴収不能引当金	0	0	0				
資産の部合計	171,466,183	173,941,946	△2,475,763	負債及び純資産の部合計	171,466,183	173,941,946	△2,475,763

資金収支計算書

(自)平成27年04月01日

(至)平成28年03月31日

法人：社会福祉法人 開成町社会福祉協議会
事業：法人全体

1 / 3

(単位：円)

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A-B)	備考
< 事業活動による収支 >				
< 収入 >				
会費収入	3,448,000	3,281,500	166,500	
一般会費収入	2,668,000	2,513,500	154,500	
一般世帯会費収入	2,400,000	2,236,000	164,000	
各種団体会費収入	268,000	277,500	△9,500	
賛助会費収入	780,000	768,000	12,000	
寄附金収入	876,000	1,039,921	△163,921	
寄附金収入	876,000	1,039,921	△163,921	
補助金収入	35,638,000	35,688,000	△50,000	
町補助金収入	35,638,000	35,638,000	0	
法人運営費補助金収入	2,023,000	2,023,000	0	
職員人件費等補助金収入	31,853,000	31,853,000	0	
地域福祉推進事業補助金収入	1,762,000	1,762,000	0	
県社協補助金収入	0	50,000	△50,000	
交通遺児援護基金事業助成金収入	0	50,000	△50,000	
受託金収入	40,069,000	38,967,740	1,101,260	
町受託金収入	37,535,000	36,484,810	1,050,190	
福祉会館指定管理受託金収入(一般分)	17,346,000	17,346,000	0	
福祉会館指定管理受託金収入(修繕分)	1,396,000	1,396,000	0	
介護予防支援事業受託金収入	196,000	246,210	△50,210	
地域包括支援センター事業受託金収入	11,931,000	11,931,000	0	
介護予防把握事業受託金収入	2,214,000	2,214,000	0	
コミュニティバス運行事業受託金収入	4,452,000	3,351,600	1,100,400	
県社協受託金収入	2,534,000	2,482,930	51,070	
生活福祉資金貸付事業受託金収入	350,000	349,500	500	
日常生活自立支援事業受託金収入	2,134,000	2,133,430	570	
交通遺児援護基金事業受託金収入	50,000	0	50,000	
事業収入	11,495,000	10,678,561	816,439	
参加費収入	103,000	102,200	800	
利用料収入	11,084,000	10,351,613	732,387	
利用料収入	3,984,000	3,251,613	732,387	
福祉会館利用料減免分補填収入	7,100,000	7,100,000	0	
広告料収入	48,000	26,000	22,000	
手数料収入	160,000	156,748	3,252	
償還金収入	100,000	42,000	58,000	
貸付事業等償還金収入	100,000	42,000	58,000	
共同募金配分金収入	1,870,000	1,865,666	4,334	
一般募金配分金収入	1,750,000	1,750,000	0	
年末たすけあい配分金収入	120,000	115,666	4,334	
介護保険事業収入	36,278,000	28,676,602	7,601,398	
居宅介護料収入	22,439,000	15,521,004	6,917,996	
介護報酬収入	19,926,000	13,055,555	6,870,445	
介護予防報酬収入	395,000	654,390	△259,390	
利用者介護負担金収入(公費)	2,075,000	1,731,251	343,749	
利用者介護予防負担金収入(公費)	43,000	79,808	△36,808	

資金収支計算書

(自)平成27年04月01日

(至)平成28年03月31日

法人：社会福祉法人 開成町社会福祉協議会
事業：法人全体

2 / 3

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A-B)	備考
	居宅介護支援介護料収入	11,373,000	11,367,362	5,638	
	居宅介護支援介護料収入	9,091,000	8,793,680	297,320	
	介護予防居宅介護支援介護料収入	2,282,000	2,573,682	△291,682	
	利用者等利用料収入	2,391,000	1,734,231	656,769	
	利用者等利用料収入	2,391,000	1,734,231	656,769	
	その他の事業収入	75,000	54,005	20,995	
	その他の事業収入	75,000	54,005	20,995	
	受取利息配当金収入	226,000	284,850	△58,850	
	その他の収入	1,399,000	1,379,570	19,430	
	雑収入	1,399,000	1,379,570	19,430	
	雑収入	1,399,000	1,379,570	19,430	
事業活動収入計(1)		131,299,000	121,862,410	9,436,590	
< 支出 >					
	人件費支出	86,129,349	79,008,086	7,121,263	
	役員報酬支出	1,560,000	1,483,000	77,000	
	職員本俸支出	29,701,000	28,623,337	1,077,663	
	職員諸手当支出	18,111,660	15,937,101	2,174,559	
	非常勤職員給与支出	26,732,000	23,788,513	2,943,487	
	退職共済掛金支出	847,600	822,400	25,200	
	法定福利費支出	9,177,089	8,353,735	823,354	
	事業費支出	22,434,211	19,962,018	2,472,193	
	給食費支出	1,738,000	1,207,888	530,112	
	燃料費支出	805,000	213,693	591,307	
	消耗器具備品費支出	1,991,249	1,535,748	455,501	
	印刷製本費支出	408,000	168,480	239,520	
	保険料支出	660,156	610,785	49,371	
	諸謝金支出	798,276	605,119	193,157	
	会議費支出	122,880	99,223	23,657	
	広報費支出	1,232,712	1,232,712	0	
	業務委託費支出	12,543,938	12,336,038	207,900	
	助成金支出	1,843,000	1,741,666	101,334	
	援護費支出	70,000	50,000	20,000	
	貸付金支出	101,000	45,000	56,000	
	年末たすけあい配分金事業費支出	120,000	115,666	4,334	
	事務費支出	28,058,233	26,496,127	1,562,106	
	福利厚生費支出	314,898	293,884	21,014	
	車輛費支出	730,842	714,920	15,922	
	旅費交通費支出	201,380	156,920	44,460	
	役員旅費支出	76,000	69,360	6,640	
	職員旅費支出	125,380	87,560	37,820	
	研修研究費支出	207,900	175,660	32,240	
	水道光熱費支出	13,161,902	12,894,271	267,631	
	修繕費支出	1,396,000	1,391,969	4,031	
	通信運搬費支出	645,549	598,609	46,940	
	手数料支出	171,161	151,696	19,465	
	賃借料支出	4,772,220	3,913,271	858,949	

資金収支計算書

(自)平成27年04月01日

(至)平成28年03月31日

法人：社会福祉法人 開成町社会福祉協議会
事業：法人全体

3 / 3

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A-B)	備考
	租税公課支出	751,402	713,000	38,402	
	保守料支出	5,607,769	5,396,717	211,052	
	渉外費支出	15,000	14,000	1,000	
	諸会費支出	81,210	81,210	0	
	雑支出	1,000	0	1,000	
	その他の支出	1,278,000	1,277,188	812	
	雑支出	1,278,000	1,277,188	812	
	雑支出	1,278,000	1,277,188	812	
	事業活動支出計(2)	137,899,793	126,743,419	11,156,374	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		△6,600,793	△4,881,009	△1,719,784	
< 施設整備等による収支 >					
< 収入 >					
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	
< 支出 >					
	施設整備等支出計(5)	0	0	0	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		0	0	0	
< その他の活動による収支 >					
< 収入 >					
	基金積立資産取崩収入	1,250,000	1,250,000	0	
	福祉基金積立資産取崩収入	1,250,000	1,250,000	0	
	普通預金(基金)さが信開0349990	1,250,000	1,250,000	0	
	積立資産取崩収入	12,380,000	11,563,718	816,282	
	退職共済積立資産取崩収入	33,000	32,718	282	
	普通預金(退職)さが信開0385710	33,000	32,718	282	
	通所介護事業積立資産取崩収入	12,346,000	11,531,000	815,000	
	普通預金(通所)さが信開0372400	12,346,000	11,531,000	815,000	
	福祉会館管理積立資産取崩収入	1,000	0	1,000	
	普通預金(会館)さが信開0417404	1,000	0	1,000	
	その他の活動収入計(7)	13,630,000	12,813,718	816,282	
< 支出 >					
	基金積立資産支出	1,201,945	1,201,945	0	
	福祉基金積立資産支出	1,201,945	1,201,945	0	
	福祉基金積立資産支出0349990	1,201,945	1,201,945	0	
	積立資産支出	5,133,000	5,131,000	2,000	
	退職共済積立資産支出	5,131,000	5,131,000	0	
	普通預金(退職)さが信開0385710	5,131,000	5,131,000	0	
	通所介護事業積立資産支出	1,000	0	1,000	
	普通預金(通所)さが信開0372400	1,000	0	1,000	
	福祉会館管理積立資産支出	1,000	0	1,000	
	普通預金(会館)さが信開0417404	1,000	0	1,000	
	その他の活動支出計(8)	6,334,945	6,332,945	2,000	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		7,295,055	6,480,773	814,282	
予備費支出(10)		2,097,262	0	2,097,262	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		△1,403,000	1,599,764	△3,002,764	
前期末支払資金残高(12)		1,403,000	950,123	452,877	
当期末支払資金残高(11)+(12)		0	2,549,887	△2,549,887	

事業活動計算書

(自)平成27年04月01日
(至)平成28年03月31日

法人：社会福祉法人 開成町社会福祉協議会
事業：法人全体

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
< サービス活動増減の部 >				
< 収益 >				
会費収益		3,281,500	0	3,281,500
一般会費収益		2,513,500	0	2,513,500
一般世帯会費収益		2,236,000	0	2,236,000
各種団体会費収益		277,500	0	277,500
賛助会費収益		768,000	0	768,000
寄附金収益		1,039,921	0	1,039,921
寄附金収益		1,039,921	0	1,039,921
経常経費補助金収益		35,688,000	0	35,688,000
市区町村補助金収益		35,638,000	0	35,638,000
法人運営費補助金収益		2,023,000	0	2,023,000
職員人件費等補助金収益		31,853,000	0	31,853,000
地域福祉推進事業補助金収益		1,762,000	0	1,762,000
県社協補助金収益		50,000	0	50,000
交通遺児援護基金事業助成金収益		50,000	0	50,000
受託金収益		38,967,740	0	38,967,740
町受託金収益		36,484,810	0	36,484,810
福祉会館指定管理受託金収益(一般分)		17,346,000	0	17,346,000
福祉会館指定管理受託金収益(修繕分)		1,396,000	0	1,396,000
介護予防支援事業受託金収益		246,210	0	246,210
地域包括支援センター事業受託金収益		11,931,000	0	11,931,000
介護予防把握事業受託金収益		2,214,000	0	2,214,000
コミュニティバス運行事業受託金収益		3,351,600	0	3,351,600
県社協受託金収益		2,482,930	0	2,482,930
生活福祉資金貸付事業受託金収益		349,500	0	349,500
日常生活自立支援事業受託金収益		2,133,430	0	2,133,430
事業収益		10,636,561	0	10,636,561
参加費収益		102,200	0	102,200
利用料収益		10,351,613	0	10,351,613
利用料収益		3,251,613	0	3,251,613
福祉会館利用料減免分補填収益		7,100,000	0	7,100,000
広告料収益		26,000	0	26,000
手数料収益		156,748	0	156,748
共同募金配分金収益		1,865,666	0	1,865,666
一般募金配分金収益		1,750,000	0	1,750,000
年末たすけあい配分金収益		115,666	0	115,666
介護保険事業収益		28,676,602	0	28,676,602
居宅介護料収益		15,521,004	0	15,521,004
介護報酬収益		13,055,555	0	13,055,555
介護予防報酬収益		654,390	0	654,390
利用者介護負担金収益(公費)		1,731,251	0	1,731,251
利用者介護予防負担金収益(公費)		79,808	0	79,808
居宅介護支援介護料収益		11,367,362	0	11,367,362
居宅介護支援介護料収益		8,793,680	0	8,793,680
介護予防支援介護料収益		2,573,682	0	2,573,682
利用者等利用料収益		1,734,231	0	1,734,231

事業活動計算書

(自)平成27年04月01日
(至)平成28年03月31日

法人：社会福祉法人 開成町社会福祉協議会
事業：法人全体

2 / 3

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
	利用者等利用料収益	1,734,231	0	1,734,231
	その他の事業収益	54,005	0	54,005
	その他の事業収益	54,005	0	54,005
サービス活動収益計(1)		120,155,990	0	120,155,990
< 費用 >				
	人件費	79,008,086	0	79,008,086
	役員報酬	1,483,000	0	1,483,000
	職員本俸	28,623,337	0	28,623,337
	職員諸手当	15,937,101	0	15,937,101
	非常勤職員給与	23,788,513	0	23,788,513
	退職給付費用	822,400	0	822,400
	法定福利費	8,353,735	0	8,353,735
	事業費	19,917,018	0	19,917,018
	給食費	1,207,888	0	1,207,888
	燃料費	213,693	0	213,693
	消耗器具備品費	1,535,748	0	1,535,748
	印刷製本費	168,480	0	168,480
	保険料	610,785	0	610,785
	諸謝金	605,119	0	605,119
	会議費	99,223	0	99,223
	広報費	1,232,712	0	1,232,712
	業務委託費	12,336,038	0	12,336,038
	助成金	1,741,666	0	1,741,666
	援護費	50,000	0	50,000
	年末たすけあい配分金事業費	115,666	0	115,666
	事務費	26,496,127	0	26,496,127
	福利厚生費	293,884	0	293,884
	車輛費	714,920	0	714,920
	旅費交通費	156,920	0	156,920
	役員旅費	69,360	0	69,360
	職員旅費	87,560	0	87,560
	研修研究費	175,660	0	175,660
	水道光熱費	12,894,271	0	12,894,271
	修繕費	1,391,969	0	1,391,969
	通信運搬費	598,609	0	598,609
	手数料	151,696	0	151,696
	賃借料	3,913,271	0	3,913,271
	租税公課	713,000	0	713,000
	保守料	5,396,717	0	5,396,717
	渉外費	14,000	0	14,000
	諸会費	81,210	0	81,210
	基金組入額	1,201,945	0	1,201,945
	福祉基金組入額	1,201,945	0	1,201,945
	減価償却費	681,893	0	681,893
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△273,000	0	△273,000
サービス活動費用計(2)		127,032,069	0	127,032,069
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		△6,876,079	0	△6,876,079

事業活動計算書

(自)平成27年04月01日
(至)平成28年03月31日

法人：社会福祉法人 開成町社会福祉協議会
事業：法人全体

3 / 3

(単位：円)

勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
< サービス活動外増減の部 >			
< 収益 >			
受取利息配当金収益	284,850	0	284,850
その他のサービス活動外収益	1,379,570	0	1,379,570
雑収益	1,379,570	0	1,379,570
サービス活動外収益計(4)	1,664,420	0	1,664,420
< 費用 >			
その他のサービス活動外費用	1,277,188	0	1,277,188
雑損失	1,277,188	0	1,277,188
サービス活動外費用計(5)	1,277,188	0	1,277,188
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	387,232	0	387,232
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△6,488,847	0	△6,488,847
< 特別増減の部 >			
< 収益 >			
その他の特別収益	52,000	0	52,000
その他の特別収益	52,000	0	52,000
特別収益計(8)	52,000	0	52,000
< 費用 >			
固定資産売却損・処分損	1	0	1
車輛運搬具売却損・処分損	1	0	1
国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	△116,000	0	△116,000
その他の特別損失	79,000	0	79,000
その他の特別損失	79,000	0	79,000
特別費用計(9)	△36,999	0	△36,999
特別増減差額(10)=(8)-(9)	88,999	0	88,999
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△6,399,848	0	△6,399,848
< 繰越活動増減差額の部 >			
前期繰越活動増減差額(12)	2,773,617	0	2,773,617
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	△3,626,231	0	△3,626,231
基本金取崩額(14)	0	0	0
基金取崩額(15)	1,250,000	0	1,250,000
福祉基金取崩額	1,250,000	0	1,250,000
その他の積立金取崩額(16)	11,563,718	0	11,563,718
退職共済積立金取崩額	32,718	0	32,718
通所介護事業積立金取崩額	11,531,000	0	11,531,000
その他の積立金積立額(17)	5,131,000	0	5,131,000
退職共済積立金積立額	5,131,000	0	5,131,000
次期繰越活動増減差額(18)=(13)+(14)+(15)+(16)-(17)	4,056,487	0	4,056,487

財産目録
平成28年03月31日現在

別紙5

法人：社会福祉法人 開成町社会福祉協議会
事業：法人全体

1 / 2
(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
Ⅰ 資産の部						
1 流動資産						
現金預金		—		—	—	9,436,282
現金		—		—	—	0
小口現金		—		—	—	45,000
預貯金		—		—	—	9,391,282
未収金		—		—	—	626,817
貯蔵品		—		—	—	770
立替金		—		—	—	3,462,676
前払費用		—		—	—	758,520
仮払金		—		—	—	0
その他の流動資産		—		—	—	73,337
流動資産合計						14,358,402
2 固定資産						
(1) 基本財産						
定期預金		—		0	0	1,000,000
定期預金(一般)さが信開0794311		—		0	0	1,000,000
基本財産合計						1,000,000
(2) その他の固定資産						
車輛運搬具		—		0	0	2,846,669
器具及び備品		—		0	0	11,131
権利		—		0	0	72,800
投資有価証券		—		0	0	120,000,000
投資有価証券(横浜市債)		—		0	0	30,000,000
投資有価証券(川崎市債)		—		0	0	40,000,000
投資有価証券(ハマ債5)退職積立		—		0	0	50,000,000
長期貸付金		—		0	0	3,000
退職給付引当資産		—		0	0	12,726,300
福祉基金積立資産		—		0	0	8,360,945
福祉基金積立資産 N 0.0349990		—		0	0	8,360,945
退職共済積立資産		—		0	0	12,086,936
普通預金(退職)さが信開0385710		—		0	0	12,086,936
通所介護事業積立資産		—		0	0	0
普通預金(通所)さが信開0372400		—		0	0	0
その他の固定資産合計						156,107,781
固定資産合計						157,107,781
資産合計						171,466,183
Ⅱ 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金		—		—	—	9,586,415
預り金		—		—	—	2,142,133

法人：社会福祉法人 開成町社会福祉協議会
事業：法人全体

2 / 2
(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
源泉所得税預り金		—		—	—	0
住民税預り金		—		—	—	0
社会保険料預り金		—		—	—	466,305
福利協会預り金		—		—	—	0
共済会費預り金		—		—	—	0
一般会費(世帯)預り金		—		—	—	0
一般会費(団体)預り金		—		—	—	0
賛助会費預り金		—		—	—	0
福祉会館利用料（次年度）預り金		—		—	—	1,500,294
その他の預り金		—		—	—	175,534
その他の流動負債		—		—	—	79,967
流動負債合計						11,808,515
2 固定負債						
退職給付引当金		—		—	—	12,726,300
固定負債合計						12,726,300
負債合計						24,534,815
差引純資産						146,931,368

(記載上の留意事項)

- ・土地、建物が複数ある場合には、科目を拠点区分毎に分けて記載するものとする。
- ・同一の科目について控除対象財産に該当し得るものと、該当し得ないものが含まれる場合には、分けて記載するものとする。
- ・科目を分けて記載した場合は、小計欄を設けて、「貸借対照表価額」欄と一致させる。
- ・「使用目的等」欄には、社会福祉法第55条の2の規定に基づく社会福祉充実残額の算定に必要な控除対象財産の判定を行うため、各資産の使用目的を簡潔に記載する。
なお、負債については、「使用目的等」欄の記載を要しない。
- ・「貸借対照表価額」欄は、「取得価額」欄と「減価償却累計額」欄の差額と同額になることに留意する。
- ・建物についてのみ「取得年度」欄を記載する。
- ・減価償却資産（有形固定資産に限る）については、「減価償却累計額」欄を記載する。なお、減価償却累計額には、減損損失累計額を含むものとする。
また、ソフトウェアについては、取得価額から貸借対照表価額を控除して得た額を「減価償却累計額」欄に記載する。
- ・車輛運搬具の〇〇には会社名と車種を記載すること。車輛番号は任意記載とする。
- ・預金に関する口座番号は任意記載とする。

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

- (1) 貯蔵品の評価方法

総平均原価法
- (2) 有価証券の評価方法

移動平均法
- (3) 退職給与引当金の計上基準

退職金支給に備えるため神奈川県福利協会加入し、退職給与引当金を計上
- (4) 減価償却の方法

定額法

3. 重要な会計方針の変更

事務局運営・通所介護事業の収支欠損分補填措置として通所介護事業運営資金取崩(11,531千円)を行いました。

4. 法人で採用する退職給付制度

退職手当の支給は、神奈川県市町村職員退職手当組合退職手当支給条例の規定割合により得た額を基準とする。

5. 法人が作成する計算書類と拠点区分、サービス区分

- 当法人の作成する財務諸表は以下のとおり
- (1) 法人全体の財務諸表(貸借対照表・資金収支計算書・事業活動計算書)

(2) 事業区分別内訳表(資金収支内訳表・事業活動内訳表)

(3) 財産目録

6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。(単位:円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	1,000,000	0	0	1,000,000

7. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

8. 担保に供している資産

9. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。(単位:円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車輛運搬具	10,017,800	7,171,131	2,846,669
器具及び備品	2,206,538	2,195,407	11,131
権利	72,800	0	72,800

10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

該当なし

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

12. 関連当事者との取引の内容

該当なし

13. 重要な偶発債務

該当なし

14. 重要な後発事象

該当なし

15. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

監査報告書

平成 28 年 5 月 9 日

社会福祉法人 開成町社会福祉協議会
会 長 増 田 崇 様

社会福祉法人 開成町社会福祉協議会

監 事 金澤 孝男 

監 事 永田 英男 

監 事 藤 井 宏 

平成 27 年度の業務執行状況並びに財務の状況について、事業報告及び会計報告、さらにはこの内容を証する関係帳簿及び証拠書類等を精査したところ、正確かつ適正な事業及び経理執行がなされたことを認めます。